

資料番号

5

令和8年6月18日
課名 教育委員会事務局
教育改革課
担当者 課長 山内
内線 4892

令和8年度広島県公立高等学校入学者選抜

一般学力検査の結果

広島県教育委員会

目 次

I	一般学力検査結果の概要	1
1	出題について	1
2	検査結果の概要について	1
II	各教科の出題のねらい及び正答率と指導のポイント	5
	国 語	5
	社 会	9
	数 学	13
	理 科	18
	英 語	23
III	令和8年度学力検査問題、採点基準	27

○ 検査問題には、著作権等に関わる内容が含まれているので、校内の研修に用いるなど、本冊子の趣旨の範囲内で使用すること。

○ 著作権等に係る出典名等は次のとおり。

- | | | | | |
|---|---|-----------|------------------------|-----------------------|
| 国 | 二 | 青山美智子 | チョコレート・ピース | (株式会社マガジンハウス) |
| | 三 | 犬塚美輪 | 読めば分かるは当たり前?読解力の認知心理学 | (株式会社筑摩書房) |
| | 四 | 松井成教(校注者) | 多治比郁夫・中野三敏 | 落栗物語 (株式会社岩波書店) |
| 社 | 2 | (資料IV) | 国史大辞典 第十四卷 | (株式会社吉川弘文館) 沖縄県立博物館所蔵 |
| | 4 | (資料III) | ウンシュウミカン・アボカド適地移動予測マップ | (農研機構 2025) |
| | 4 | (資料IV) | ZONE2 7人の子どもたちと出会う | (ユニセフハウススタディ) |

I 一般学力検査結果の概要

令和8年2月25日(水)に実施した広島県公立高等学校入学者選抜における一般学力検査について、その概要を取りまとめたので、今後の学習指導の参考としてください。

1 出題について

一般学力検査問題の出題に当たっては、中学校学習指導要領に示された各教科の目標に基づき、分野・領域のバランスに留意するとともに、基礎的・基本的な内容を中心に出题した。また、総合問題や記述問題などを取り入れることによって、思考力、判断力、及び表現力等をみるよう配慮した。

出題の大問数等については、次のとおりである。なお、英語においては、例年どおり実音聴取による問題を出題した。

各教科における設問数

内容	国語	社会	数学	理科	英語
大問数	4	4	6	5	4
設問数	22	26	18	24	22
選択問題	5	14	4	14	13
記述問題等	17	12	14	10	9

* 記述問題等には、漢字の書き取りや選択した理由を併せて記述する設問を含めている。

2 検査結果の概要について

各教科の平均点、標準偏差及び得点分布については、次のとおりであった。

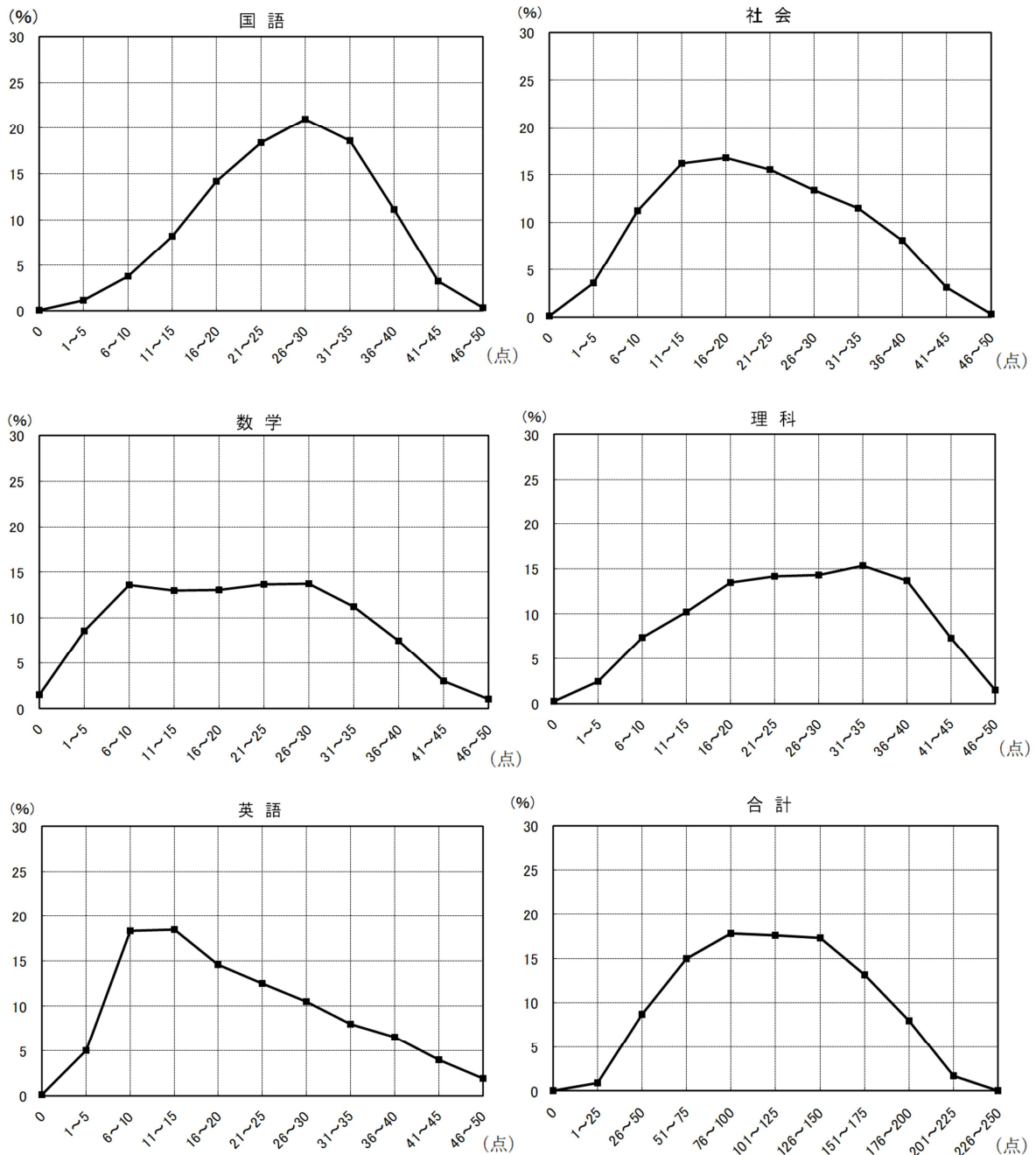
各教科(50点満点)の平均点

教科	国語	社会	数学	理科	英語	5教科平均
令和8年度	26.0	21.8	20.7	25.8	20.2	22.9
令和7年度	21.4	24.4	19.6	26.2	21.4	22.6

各教科(50点満点)の標準偏差

教科	国語	社会	数学	理科	英語
令和8年度	8.8	10.2	11.6	11.0	11.3
令和7年度	8.3	10.5	9.5	10.4	12.5

(各教科の得点分布)



5教科合計について、得点分布の状況を示すグラフの全体の形は、やや中央が高くなった山形になっており、平均点は、単純な経年比較はできないものの、昨年度と比べ大きな変化はない。

教科別にみると、国語については、得点分布の全体の形がやや右寄りの中央が高くなった山形となっており、平均点は昨年度と比べ上昇した。学習を進めていく上での基盤となる「漢字の読み」と「漢字の書き取り」についての正答率は、それぞれ83.2%、67.1%と「漢字の読み」に比べ「漢字の書き取り」が低い。大問別にみると、説

明的な文章についての大問の正答率が比較的低い。

社会については、得点分布の全体の形がやや左寄りの中央が高くなった山形となっており、平均点は昨年度と比べ下降した。分野別にみると、地理的分野についての問題の正答率が比較的低い。

数学については、得点分布の全体の形が台形に近い形になっているが、平均点は昨年度と比べやや上昇した。今後学習を進めていく上での基盤となる「簡単な数・式の計算」についての正答率の平均は75.6%と高い。領域別にみると、関数についての問題の正答率が比較的低い。

理科については、得点分布の全体の形が台形に近い形になっており、平均点は昨年度と比べ大きな変化はない。領域別にみると、「エネルギー」を柱とする領域についての問題の正答率が比較的低い。

英語については、得点分布の全体の形が左側が高くなった山形になっており、平均点は昨年度と比べやや下降した。大問別にみると、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、表現内容を工夫してコミュニケーションを行うことについての問題の正答率が比較的低い。

5教科に共通した課題としては、課題解決の場面で、文章・資料等から読み取るなどして得た情報を、既習の知識や学習内容等と関連付けて考察して、自分の考えをもったり判断したりし、その過程や結果を表現することが十分にできていない点が挙げられる。

この点を改善するためには、まず、自然・社会における事象の考察、コミュニケーションの場面などにおいて、目的や状況等に応じて思考・判断したり表現したりするのにふさわしい問いや学習課題を設定して学習指導を行うことが考えられる。そして、生徒が問いや学習課題に答えたり、取り組んだりする過程において、基礎的・基本的な知識及び技能の習得も図りつつ、精査した情報を基に自分の考えを形成し、その過程や結果を文章などによって表現する場面を設けることが重要である。

こうした学習指導を行う上で大切なのは、それぞれの教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせることにつながるような問いや学習課題を設定することである。生徒が学習の過程において「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かうような学びにしていくことが重要である。こうした学びの過程においては、デジタル学習基盤を活用し、生徒が自ら学習を調整しつつ、他者と協働して異なる考え方を組み合わせていくなどといった、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ることも大切である。なお、「Ⅱ 各教科の出題のねらい及び正答率と指導のポイント」に、各教科における指導のポイントの参考として学習指導の一例を示した。

また、高等学校においても、各教科・科目の目標や系統性を理解した上で、義務教育段階の指導状況や生徒の発達段階、生徒の言語能力の状況を踏まえ、単元の構成や指導の在り方を工夫・改善していく必要がある。

Ⅱ 各教科の出題のねらい及び正答率と指導のポイント

国 語

1 出題のねらい及び正答率

言葉に関する基礎的・基本的な知識及び技能、また、現代文（文学的な文章、説明的な文章）及び古典によって、伝え合う力、思考力や想像力などをみる。

各問題のねらい（以下、（ ）内のパーセントは正答率を示す。）

一は、言葉の特徴や使い方に関する基礎的・基本的な知識及び技能についてみる問題である。

- 1 漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
（ア 96.1%、イ 85.9%、ウ 67.6%、エ 66.7%、オ 57.1%、カ 77.6%）
- 2 熟語の構成について理解している。（81.5%）
- 3 単語の類別について理解している。（78.9%）

二は、文学的な文章について、想像力などを働かせて、場面や登場人物の心情などを的確に捉え、それを適切に表現するなどの力をみる問題である。

- 1 文脈に即して登場人物の心情を的確に捉え、それを適切に表現することができる。
（13.2%）
- 2 文脈に即して場面を的確に捉えることができる。（74.4%）
- 3 話の展開に即して登場人物の心情の変化を的確に捉え、それを適切に表現することができる。（8.0%）
- 4 （1）話の展開に即して場面を的確に捉えることができる。（81.9%）
（2）観点を明確にして文章を比較し、登場人物の言動の意味を的確に捉え、それを適切に表現することができる。（Ⅱ 52.5%、Ⅲ 5.6%）

三は、説明的な文章について、思考力などを働かせて、文章の論理的な構成や展開などを的確に捉え、それを適切に表現するなどの力をみる問題である。

- 1 論理の展開に即して内容を的確に捉えることができる。（50.5%）
- 2 論理の展開に即して内容を的確に捉え、それを適切に表現することができる。
（22.6%）
- 3 （1）目的に応じて必要な内容を的確に捉えることができる。（58.4%）

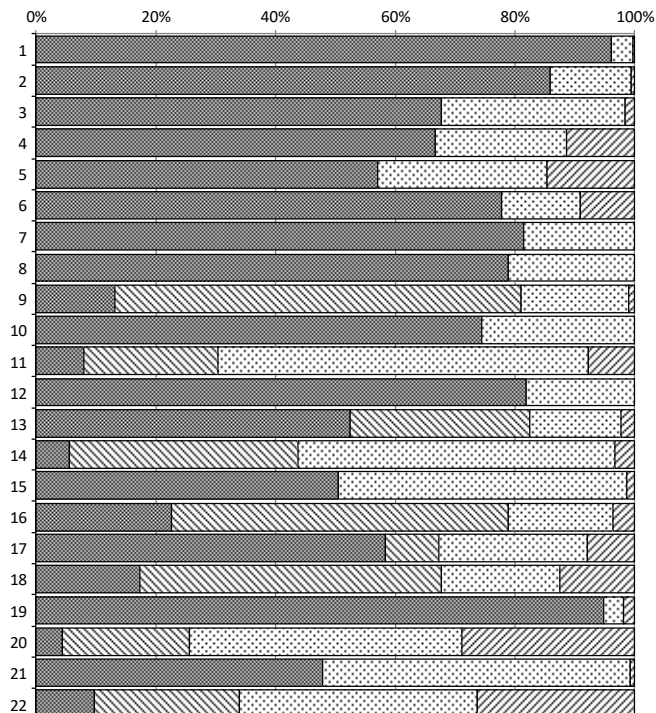
(2) 文章の構成や論理の展開について評価することができる。(17.3%)

四は、古典について、基礎的な事項の理解、文章の内容などを的確に捉え、それを適切に表現するなどの力をみる問題である。

- 1 歴史的仮名遣いについて理解している。(94.8%)
- 2 指示語の内容を文脈の中での的確に捉え、それを適切に表現することができる。(4.4%)
- 3 文脈に即して場面を的確に捉えることができる。(47.9%)
- 4 文章の展開に即して内容を的確に捉え、古典に表れたものの見方や考え方を適切に表現することができる。(9.7%)

※正答率等詳細

国語		1	2	3	4	
問題番号		正答	部分正答	誤答	無答	
一	1	ア	96.1	0.0	3.5	0.4
		イ	85.9	0.0	13.5	0.6
		ウ	67.6	0.0	30.8	1.6
		エ	66.7	0.0	21.9	11.4
		オ	57.1	0.0	28.2	14.7
		カ	77.6	0.0	13.2	9.1
	2	81.5	0.0	18.5	0.0	
3	78.9	0.0	21.1	0.0		
二	1	13.2	67.8	17.9	1.1	
	2	74.4	0.0	25.5	0.1	
	3	8.0	22.4	61.9	7.8	
	4	(1)	81.9	0.0	18.0	0.1
		(2)				
	II	52.5	29.9	15.2	2.4	
	III	5.6	38.1	53.0	3.3	
三	1	50.5	0.0	48.2	1.4	
	2	22.6	56.3	17.4	3.7	
	3	(1)	58.4	8.8	24.9	7.9
		(2)	17.3	50.3	19.9	12.5
四	1	94.8	0.0	3.3	1.9	
	2	4.4	21.3	45.4	28.9	
	3	47.9	0.0	51.4	0.8	
	4	9.7	24.2	39.8	26.3	



■ 正答 □ 部分正答 □ 誤答 □ 無答

2 指導のポイント

上記の結果から、定着に課題がみられた二の3を取り上げて説明する。

(1) 出題の意図

この問題は、話の展開に即して登場人物の心情の変化を的確に捉え、それを適切

に表現する力が養われているかどうかをみる問題として作成した。

具体的には、登場人物である姉の言動を見聞きした妹の心情の変化を、話の展開に即して文章でまとめさせる問題として作成した。

(2) この問題が意図する力を育成するには

この問題が意図する力を育成するための学習指導として、例えば、次のようなことが考えられる。

【見通し】

- ① 導入として、過去の読書経験から印象に残った物語を想起させ、物語の面白さには、登場人物の心情の変化が関わっていることに気付かせる。その後、単元の目標として、「話の展開に即して登場人物の心情の変化を的確に捉え、それを適切に表現する力を身に付けること」を生徒と共有し、「小説を読んで登場人物の心情の変化が伝わる朗読をする」という言語活動を提示し、学習の見通しをもたせる。

【構造と内容の把握】

- ② 教科書に掲載されている小説を読み、構造と内容の把握として、行動や会話、情景などに係る描写を基に、文章の展開や登場人物の相互関係、心情の変化を捉えさせる。その後、心情の変化が伝わる朗読をするために、重要だと考える場面を複数選ばせる。

構造と内容の把握につまずいている生徒には、人物相関図や出来事を場面の展開に沿って整理した図を作成させたり、辞書を用いて心情を表す語句について意味や用法を調べさせたりする。

【精査・解釈、考えの形成、共有】

- ③ 心情の変化が伝わる朗読をするために、心情の変化について何を考えるとよいか（きっかけとなる出来事、言動、表情、口調、様子等）を挙げさせ、学級全体で共有する。その上で、②の学習で選んだ場面を相互に結び付けたり、場面と登場人物の心情や行動、情景に係る描写を結び付けたりすることで、心情の変化について考えさせる。その際、場面や描写のどの言葉の意味、働き、使い方等を手がかりにしたのかを明らかにするよう促す。その後、心情の変化について考えたことをワークシートにまとめさせる。

場面と場面、場面と描写を結び付けることにつまずいている生徒には、心情の変化について考える上で重要な場面や描写を複数提示し、それらを結び付け

ると、どのような意味付けができるかと問いかけ、場面や描写に着目する視点を示す。

- ④ 生徒は、③のワークシートを基に、②で選んだ場面の文章のテキストデータに、コメント機能を用いて、どのように朗読するかを記したメモを作る。具体的には、登場人物の表情、口調、様子等をメモ書きする。

次に、同じ場面を選んだ生徒同士でグループを作り、そのグループ内で、朗読のためのメモと③のワークシートを提示しながら、心情の変化についてどのように考えたかを説明し合い、他者の考えやその根拠について知る。その上で、改めて自分が文章をどのように捉えて精査・解釈したのかを振り返り、朗読のためのメモやワークシートを加筆・修正することで、心情の変化についての考えを確かなものにする。その後、グループ内で朗読し合う。

【振り返り】

- ⑤ ①～④の学習の振り返りを通して、心情の変化を的確に捉えるには、複数の場面を相互に結び付けたり、場面と登場人物の心情や行動、情景に係る描写を結び付けたりすることが大切であると気付かせる。なお、本単元で学んだことを生かして別の小説を読むことで、学びを一層充実したものにすることも考えられる。

社 会

1 出題のねらい及び正答率

地理的分野、歴史的分野及び公民的分野の3分野にわたって、基礎的・基本的な知識及び技能、各種の資料を活用して考察し判断する能力及び考察した結果を表現する能力をみる。

各問題のねらい（以下、（ ）内のパーセントは正答率を示す。）

1 地理的分野

世界と日本の地理に関する基礎的・基本的な知識及び技能、地図・資料を活用して考察し判断する能力及び表現する能力をみる問題である。

- 1 (1) シリコンバレーの位置と特徴について理解している。(47.5%)
(2) 世界と日本の気候について、地図と資料から読み取ったことを関連付けて考察し、判断することができる。(48.0%)
(3) 本初子午線と世界や日本の山脈や河川の位置について理解している。(24.2%)
- 2 仙台駅から三つの駅までの、交通手段による所要時間の違いについて、資料と地図から読み取ったことを関連付けて考察し、判断することができる。(40.3%)
- 3 カリフォルニア州の家庭において、英語以外で最も多く話されている言語とその言語を話す人々について、資料を読み取って考察し、それを表現することができる。また、その人々がカリフォルニア州に多い理由について、資料から読み取ったことを考察し、それを表現することができる。(a・b 33.5%、c 13.6%)

2 歴史的分野

日本と外国との関わりを素材として、歴史的事象に関する基礎的・基本的な知識及び技能、資料を活用して考察し判断する能力及び表現する能力をみる問題である。

- 1 律令国家の政治の仕組みについて理解している。(58.2%)
- 2 平安時代の文化について理解している。(58.4%)
- 3 鎌倉時代の分割相続の背景について、資料を読み取って考察し、それを表現することができる。(a 20.7%、b 10.7%)
- 4 刀狩令について理解している。(82.8%)
- 5 アヘン戦争について、資料を読み取って考察し、判断することができる。(61.2%)

- 6 琉球王国の中継貿易について、資料を読み取って考察し、判断することができる。(48.7%)

3 公民的分野

日本の政治及び経済に関する基礎的・基本的な知識及び技能、資料を活用して考察し判断する能力及び表現する能力をみる問題である。

- 1 生存権について理解している。(92.5%)
- 2 公衆衛生について理解している。(51.2%)
- 3 クラウドファンディングについて理解している。(20.2%)
- 4 衆議院議員総選挙の選挙制度とその投票方法について、資料を読み取って考察し、判断することができる。(34.4%)
- 5 規制緩和について理解している。(53.8%)
- 6 道路建設における効率と公正について、資料を読み取って考察し、それを表現することができる。(a 9.9%、b 20.8%)

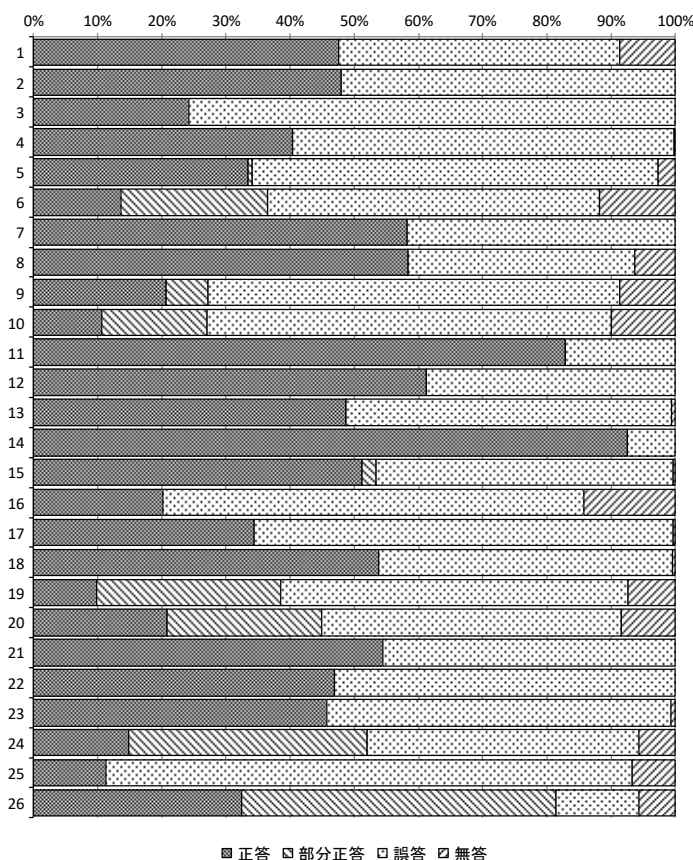
4 総合

チョコレートの価格上昇を素材として、地理的・歴史的・社会的事象に関する基礎的・基本的な知識及び技能、資料を活用して考察し判断する能力及び表現する能力をみる問題である。

- 1 日本のエネルギー供給割合の推移について、資料を読み取って考察し、判断することができる。(54.4%)
- 2 大西洋三角貿易と為替相場について理解している。(46.9%)
- 3 (1) カカオ豆の生産と気候との関連について、地図を読み取って考察し、判断することができる。(45.7%)
(2) 地球温暖化による日本の農業への影響について、資料を読み取って考察し、それを表現することができる。(14.8%)
- 4 政府開発援助について理解している。また、井戸の整備と識字率との関連について、資料を読み取って考察し、それを表現することができる。
(c 11.3%、d 32.4%)

※正答率等詳細

社会			1	2	3	4
問題番号			正答	部分正答	誤答	無答
1	1	(1)	47.5	0.0	43.9	8.6
		(2)	48.0	0.0	51.9	0.1
		(3)	24.2	0.0	75.6	0.1
	2	40.3	0.0	59.4	0.2	
	3	a・b	33.5	0.6	63.2	2.7
		c	13.6	22.9	51.7	11.8
2	1	58.2	0.0	41.6	0.1	
	2	58.4	0.0	35.3	6.3	
	3	a	20.7	6.6	64.1	8.7
		b	10.7	16.4	62.9	10.0
	4	82.8	0.0	17.0	0.1	
	5	61.2	0.0	38.7	0.1	
	6	48.7	0.0	50.7	0.6	
3	1	92.5	0.0	7.4	0.1	
	2	51.2	2.1	46.3	0.3	
	3	20.2	0.0	65.4	14.3	
	4	34.4	0.0	65.3	0.3	
	5	53.8	0.0	45.7	0.5	
	6	a	9.9	28.6	54.2	7.3
b		20.8	24.1	46.7	8.4	
4	1	54.4	0.0	45.6	0.0	
	2	46.9	0.0	53.1	0.1	
	3	(1)	45.7	0.0	53.6	0.7
		(2)	14.8	37.2	42.4	5.6
	4	c	11.3	0.0	82.0	6.7
		d	32.4	49.1	12.9	5.6



2 指導のポイント

上記の結果から、定着に課題がみられた³6を取り上げて説明する。

(1) 出題の意図

この問題は、道路建設における効率と公正について、資料を読み取って考察し、それを表現する力が養われているかどうかをみる問題として作成した。

具体的には、架空の市において新たに都市高速道路の出口を設置する際に、都市高速道路を運営するX社と、出口付近の土地所有者のY社で対立が生じる事例を基に、効率と公正の考え方に当たる内容を資料から読み取り、考察させ、説明させる問題として作成した。

(2) この問題が意図する力を育成するには

この問題が意図する力を育成するための学習指導として、例えば、次のようなことが考えられる。

【課題把握（動機付け）】

- ① 前時の復習として、合唱コンクールの練習場所の割り当てを事例に、効率と公正（手続きの公正さ、機会の公正さ、結果の公正さ）という考え方を学んだことを振り返る。次に、学校生活や日常生活において、対立が生じる事例や、きまりを作る上で判断の基準が複数ある事例がないか投げかけ、「効率と公正の考え方をを用いて、様々な事例を捉えることができるようになるだろう。」という学習課題を提示する。

【課題追究（情報収集・考察）】

- ② 生徒は、学校生活や日常生活において、対立が生じる事例や、きまりを作る上で判断の基準が複数ある事例について、個人で教科書やインターネット等を利用して調べる。調べた事例において、問題の解決やきまりを作る上でどのような決定の仕方があるのかを検討し、その事例における効率と公正の考え方をスライドにまとめる。

- ③ 教師は、生徒が作成したスライドを相互参照できるよう設定しておき、生徒は、②で各自が調べ、まとめたことをグループ内で説明する。同じグループの生徒たちは、スライドを見ながらその説明を聞き、事例における効率や公正の考え方が適切かを考察する。その際に、教師は、誰にとってどのような利害があるのかに着目させたり、手続きの公正さ、機会の公正さ及び結果の公正さのうち、どの公正の意味合いであるかに着目させたりするなど、生徒が思考を整理しやすくなるよう支援する。

【課題解決（まとめ）】

- ④ 生徒は、学習課題及び②・③の学習を踏まえ、自身が調べた事例における効率と公正の考え方について、スライドに加筆・修正をする。その際に、教師は、③で着目した公正の意味合いについて、複数該当すると考えられる場合、それぞれをまとめるよう指示する。

【新たな課題（振り返り）】

- ⑤ 教師は、新聞やテレビなどで報道されるニュースのうち、効率と公正の考え方で捉えられるものはないか投げかけ、なぜそれが世間で議論される課題になっているのかを考察させる。また、効率と公正の考え方を基にしながら、今後の公民的分野における政治、経済、国際社会の諸課題の学習を進めることが重要であることを説明し、以降の学習の基礎となるよう意識付けを行う。

数 学

1 出題のねらい及び正答率

数と式、図形、関数及びデータの活用の各領域において、基礎的・基本的な知識及び技能、数学的な思考力、判断力、表現力をみる。

各問題のねらい（以下、（ ）内のパーセントは正答率を示す。）

1 数と式や図形、関数、統計について、基礎的・基本的な知識及び技能をみる問題である。

- (1) 正の数と負の数の四則計算をすることができる。(87.8%)
- (2) 文字を用いた式の四則計算をすることができる。(82.4%)
- (3) 平方根を含む式の計算をすることができる。(68.5%)
- (4) 二次方程式を解くことができる。(63.6%)
- (5) 一次関数 $y = ax + b$ について、変化の割合を基に、 x の増加量に対する y の増加量を求めることができる。(42.3%)
- (6) 2乗に比例する関数のグラフの特徴を理解している。(67.3%)
- (7) 回転移動及び対称移動について理解している。(46.4%)
- (8) 標本調査によって白玉の個数を推定することができる。(80.0%)

2 図形や確率について、数学的な思考力をみる問題である。

- (1) 与えられた条件を満たす錐体の体積を求めることができる。(34.8%)
- (2) 与えられた条件を満たす確率を求めることができる。(8.1%)

3 数と式について、数学的な思考力、判断力、表現力をみる問題である。

- (1) 事柄が成り立つかどうかを正しく判断することができる。(34.2%)
- (2) 予想が成り立つことを、文字式を利用して、証明することができる。(42.6%)

4 統計について、基礎的・基本的な知識及び技能、数学的な思考力、表現力をみる問題である。

- (1) 度数分布表を基に、相対度数を求めることができる。(61.7%)
- (2) 箱ひげ図から読み取れることを基に、「C市はB市より1日の気温差が小さい傾向にある」と主張できる理由を、数学的な表現を用いて説明することができる。(15.4%)

5 図形や関数について、数学的な思考力をみる問題である。

(1) 与えられた条件を満たす y の値を求めることができる。(31.0%)

(2) 与えられた条件に基づいて図形を考察し、 y を x の式で表すことができる。

(5.5%)

(3) 与えられた条件に基づいて図形を考察し、 x の値を求めることができる。

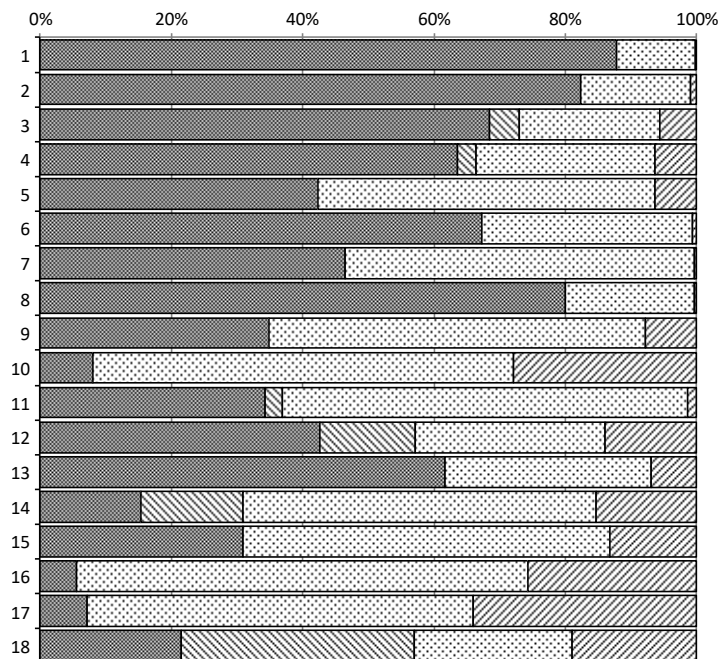
(7.1%)

6 図形について、数学的な思考力、表現力をみる問題である。

与えられた条件に基づいて図形を考察し、2つの図形が合同であることを証明することができる。(21.6%)

※ 正答率等詳細

数学		1	2	3	4
問題番号		正答	部分正答	誤答	無答
1	(1)	87.8	0.0	12.0	0.2
	(2)	82.4	0.0	16.6	1.0
	(3)	68.5	4.5	21.5	5.6
	(4)	63.6	2.8	27.2	6.4
	(5)	42.3	0.0	51.5	6.3
	(6)	67.3	0.0	32.0	0.7
	(7)	46.4	0.0	53.1	0.4
	(8)	80.0	0.0	19.6	0.4
2	(1)	34.8	0.0	57.4	7.8
	(2)	8.1	0.0	64.0	27.9
3	(1)	34.2	2.6	61.7	1.4
	(2)	42.6	14.5	28.9	14.0
4	(1)	61.7	0.0	31.3	7.0
	(2)	15.4	15.6	53.8	15.3
5	(1)	31.0	0.0	55.8	13.3
	(2)	5.5	0.0	68.8	25.7
	(3)	7.1	0.0	58.8	34.1
6		21.6	35.5	24.0	19.0



■ 正答 ■ 部分正答 □ 誤答 □ 無答

2 指導のポイント

上記の結果から、定着に課題がみられた4 (2) を取り上げて説明する。

(1) 出題の意図

この問題は、統計について、日常の事象を数理的に捉え、データの分布の傾向を読み取り、判断したことを数学的な表現を用いて的確に表現する力が養われているかどうかをみる問題として作成した。

具体的には、B市、C市それぞれの1日の気温差のデータについての箱ひげ図を提示し、「C市はB市より1日の気温差が小さい傾向にある」と主張できる理由を、箱ひげ図から読み取れることを基に説明することができるかを問う問題として作成した。

(2) この問題が意図する力を育成するには

この問題が意図する力を育成するための学習指導として、例えば、次のようなことが考えられる。

【既習事項を確認する】

- ① 日常生活や社会におけるデータについてのヒストグラム、箱ひげ図を提示し、それらを比較させながら、例えばヒストグラムであれば「分布の形が分かりやすい」、箱ひげ図であれば「複数のデータの分布が比較しやすい」など、それぞれの特徴を説明させる。

【問いを立てる】 【計画を立てる】

- ② 身の回りの事柄についてどのようなデータがあるのかを紹介する。例えば、スポーツの記録やアンケートの結果等が掲載されているウェブサイトを紹介し、そこに掲載されているデータについて、どのような特徴や傾向がありそうなのかを簡単に説明させる。
- ③ インターネットを利用して、興味がある事柄について、どのようなデータがあるか、その信頼性についても留意しながら調べさせる。調べたことを踏まえ、「ある市の平均気温は年々上昇しているのではないだろうか」などの問いを立てさせ、問いの解決などに向けて計画を立てさせる。

【データを収集する】 【データを整理する】

- ④ 立てた計画を基に必要となるデータを収集させる。収集したデータは、目的に応じて、分類したり、代表値などに表したりするなどしてデータを整理させる。

【データを分析する】 【分析の結果から結論を出す】

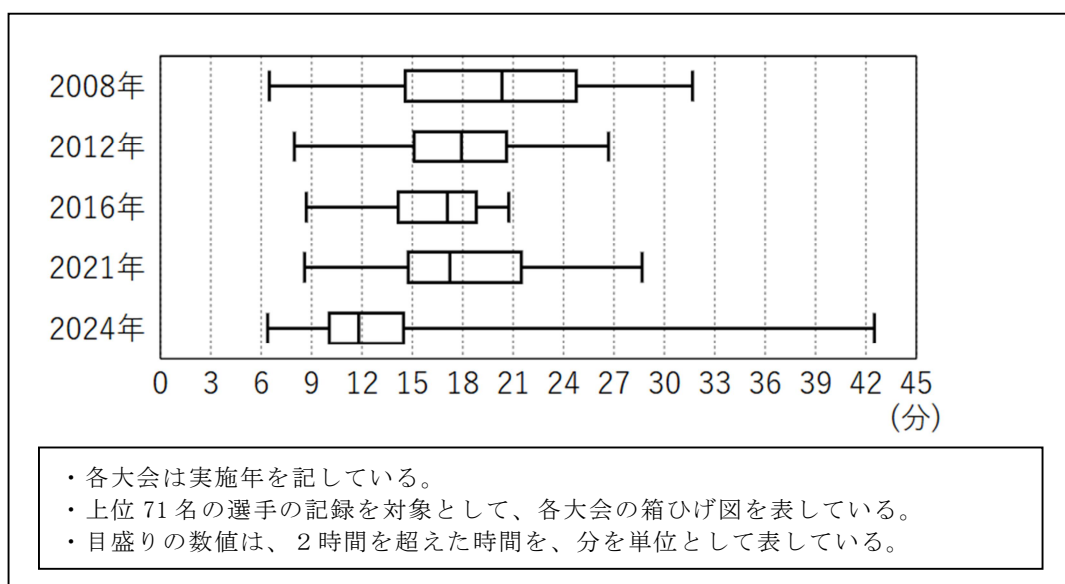
- ⑤ 対象とするデータを基に作成した図、表、グラフなどから、どのような特徴や傾向が読み取れるかを考察し、問いに対する結論を出させる。その際、結論を出した理由について、判断の根拠を明らかにさせる。

【説明・振り返り】

- ⑥ ③～⑤についてまとめたレポートを、クラウド上で作成させ、グループ内でレポートを見せ合いながら説明させる。聞き手は説明者に対して、分析の方法や問いに対する結論が適切であるかなど様々な視点でフィードバックを行う。説明者はフィードバックを受けて気付いたことを踏まえ、レポートの改善に取り組む。終わりに、学習を振り返らせ、分かったことや考えたことなどをまとめさせる。

(学習活動と学習指導の例)

ある生徒が、「オリンピックの男子マラソンでは、回を追うごとに選手の記録は向上しているのではないだろうか」という問いを立てた。そして、直近に行われた5回の大会の記録を収集・整理し、複数の大会の記録の分布を比較するには箱ひげ図が適していると考え、次のように箱ひげ図に表した。



ある生徒は、横軸において、2012年、2016年、2021年それぞれの第2四分位数を表す線分がどれも近い位置にあると考えたことや、第1四分位数を表す線分も同様にどれも近い位置にあると考えたことから、上位18番目から36番目までの記録は大きく変化しているとは言えないと判断した。このことから、必ずしも回を追うごとに向上しているとは言えないと判断した。

以上のことをまとめたレポートを作成し、グループ内で説明したところ、グループ内の他の生徒から、次のようなフィードバックがあった。

- ・記録の対象者の人数をどのように決めたのですか。
- ・直近の大会の記録で分析し判断していますが、それでよいですか。
- ・四分位数が近い場合は、ヒストグラムで比較してみればよいのでは。

このあと教師は他者から挙げられた質問や意見を説明者に整理させ、それらに対する答えを考えさせたり、理由や根拠を明確にさせたりした。

このように説明し伝え合う活動を通して、自分とは異なる考えに気付き、取り組んだ内容の理解を深めたり、捉え直して新たな考察につなげたりすることが重要である。例えば、フィードバックの2点目に挙げられたことをきっかけに、より長期的な視点でデータを分析していくことも考えられる。

理 科

1 出題のねらい及び正答率

第1分野及び第2分野ともに、基礎的・基本的な知識及び技能、科学的な思考力、判断力、表現力をみる。

各問題のねらい（以下、（ ）内のパーセントは正答率を示す。）

① 第1分野及び第2分野について、基礎的・基本的な知識及び技能をみる問題である。

- 1 斜面上の物体に働く重力を2つの力に分解し、その分力を矢印で表すことができる。（57.7%）
- 2 電力量を求めることができる。（42.5%）
- 3 金属の密度について理解している。（67.1%）
- 4 原子のつくりについて理解している。（27.3%）
- 5 被子植物の花の基本的なつくりについて理解している。（69.1%）
- 6 消化酵素の働きについて理解している。（55.2%）
- 7 太陽の南中高度について、地球の公転や地軸の傾きと関連付けて理解している。（67.4%）
- 8 日本付近における季節風の仕組みについて理解している。（43.0%）

② 細胞分裂と生物の成長を素材として、基礎的・基本的な知識及び技能、科学的な思考力、判断力、表現力をみる問題である。

- 1 （1）細胞の核を染色する染色液について理解している。（74.0%）
（2）顕微鏡の倍率について理解している。（77.7%）
（3）生物の成長について、実験の結果を基に、表現することができる。（12.9%）
- 2 タマネギのりん片の大きさと、細胞の様子との関係について、実験の方法や結果を基に考察することができる。（59.9%）

③ 地層や岩石の観察を素材として、基礎的・基本的な知識及び技能、科学的な思考力、判断力、表現力をみる問題である。

- 1 （1）凝灰岩の層が堆積した当時の環境について推定し、表現することができる。（73.1%）

(2) 地層を構成する粒の大きさから、地層が堆積した環境を推定することができる。(60.9%)

2 (1) 化石による地層の生成年代の推定について理解している。(56.3%)

(2) 河川で採取された岩石について、その特徴を基に、流れる水の働きと上流の岩石の分布とを関連付けて考察することができる。(23.2%)

4 化学変化と物質の質量を素材として、基礎的・基本的な知識及び技能、科学的な思考力、判断力、表現力をみる問題である。

1 (1) 化学変化による吸熱について理解している。(76.0%)

(2) 二酸化炭素の性質について理解している。(92.6%)

(3) 質量保存の法則を確かめるための実験について、その実験の計画から結果を予想し、それを表現することができる。(54.0%)

2 与えられた条件を基に、反応する物質の質量の間にある関係について考察することができる。(6.8%)

5 凸レンズの働きを素材として、基礎的・基本的な知識及び技能、科学的な思考力、判断力、表現力をみる問題である。

1 (1) 凸レンズと物体の間の距離と、像の大きさとの関係について理解している。(34.6%)

(2) 虚像について理解している。(64.4%)

(3) 凸レンズを通る光の進み方について理解している。(24.4%)

2 凸レンズと鏡を利用した簡易のプロジェクターを作るための工夫について考察することができる。(33.2%)

※正答率等詳細

理科		1	2	3	4		
問題番号		正答	部分正答	誤答	無答		
1	1	57.7	1.3	37.1	4.0		
	2	42.5	0.0	53.5	4.0		
	3	67.1	0.0	32.4	0.5		
	4	a・b・c	27.3	0.0	69.7	3.0	
	5	69.1	0.0	30.9	0.0		
	6	d・e	55.2	0.0	44.8	0.0	
	7	67.4	0.0	32.2	0.4		
	8	f・g・h	43.0	0.4	56.5	0.1	
2	1	(1)	74.0	0.0	25.8	0.2	
		(2)	77.7	0.0	21.6	0.7	
		(3)	12.9	34.9	47.4	4.8	
	2	59.9	0.1	39.3	0.6		
3	1	(1)	73.1	9.3	14.1	3.6	
		(2)	60.9	0.0	38.9	0.1	
	2	(1)	c・d	56.3	1.1	42.1	0.5
		(2)	X・Y	23.2	0.4	75.1	1.4
4	1	(1)	76.0	0.0	23.8	0.2	
		(2)	92.6	1.0	3.9	2.5	
		(3)	54.0	14.9	25.9	5.1	
	2	6.8	0.0	83.2	9.9		
5	1	(1)	a・b	34.6	0.9	63.9	0.6
		(2)	64.4	0.0	30.7	4.8	
		(3)	24.4	0.0	73.8	1.8	
	2	33.2	0.4	64.9	1.4		



■ 正答 □ 部分正答 □ 誤答 □ 無答

2 指導のポイント

上記の結果から、定着に課題がみられた[5]を取り上げて説明する。

(1) 出題の意図

この問題は、凸レンズの働きを利用したプロジェクターの仕組みについて、実験の方法や結果を基に、考察する力が養われているかどうかをみる問題として作成した。

具体的には、凸レンズと鏡を利用した簡易のプロジェクターを作るための工夫について、凸レンズの働きに関する実験の結果を基に、考察させる問題として作成した。

(2) この問題が意図する力を育成するには

この問題が意図する力を育成するための学習指導として、例えば、次のようなことが考えられる。

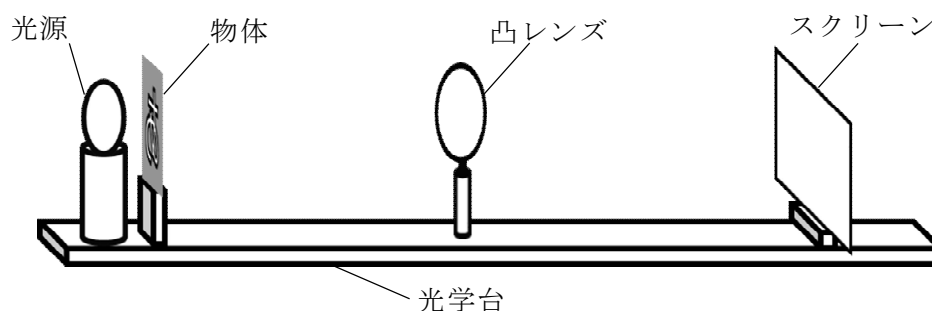
【課題の把握】

- ① 虫眼鏡を使うと、日光を集めることができたことを小学校第3学年の内容を踏まえて思い出させ、実際に虫眼鏡を用いて日光を集めさせる。次に、虫眼鏡を使って近くのものや遠くのものを見せ、見え方の違いに気付かせる。さらに、虫眼鏡を通してタブレットの画面を壁などに映す様子も見せ、「なぜ、虫眼鏡は日光を集めることができるのか。」、「それぞれの像（実像、虚像）ができる条件はどのようなものか。」など、凸レンズの働きに関する課題を設定させる。
- ② 虫眼鏡は、凸レンズであること説明した上で、凸レンズに平行光線を当てる様子を観察させ、凸レンズが光を屈折させること、凸レンズの光軸に平行な光は屈折して焦点に集まることを理解させた後、①の「なぜ、虫眼鏡は日光を集めることができるのか。」について答えさせる。さらに、「それぞれの像（実像、虚像）ができる条件はどのようなものか。」について、「凸レンズが光を屈折させていることが関係しているのではないか。」と見通しをもたせる。なお、凸レンズの中心を通る光は真っ直ぐ進むことや、焦点距離についても説明しておく。

【課題の探究】

- ③ 次に、教師は、「壁に大きく、はっきりとタブレットの画面を映すには、どうしたらよいだろうか。」と問いかけ、生徒に虫眼鏡を通してタブレットの画面を壁などに映させながら、傾向を見いださせて、仮説を設定させる。その際、虫眼鏡とタブレットの距離、虫眼鏡と壁の距離に着目させる。
- ④ 次の図1のような光学台を用いて、設定した仮説を検証する実験を行わせる。実験結果をグループごとにまとめさせて、全体で共有し、凸レンズと物体の距離、凸レンズとスクリーンの距離の関係を理解させる。

図1



- ⑤ 次に、④の実験から得た気づきを全体で共有しながら、「スクリーンに像が映

らなくなるときの条件（虚像が見える条件）はどのようなものか。」や、「像の大きさが物体の大きさと同じになるときの条件はどのようなものか。」と次の課題を設定させ、実験を行わせる。なお、各グループに配付する凸レンズは、焦点距離が異なるものを用意するとよい。

- ⑥ 各グループの結果を踏まえて、どの凸レンズにおいても、物体が凸レンズの焦点の位置より内側にあるときにはスクリーンに像が映らないこと、凸レンズと物体の距離が焦点距離の2倍となる位置に物体があるときには像の大きさが物体の大きさと同じになることなどを見いださせる。なお、虚像については、レンズから物体を見させて、このとき見える像は、物体より大きく、上下左右が同じ向きである、といった実像との違いに気付かせる。

【課題の解決】

- ⑦ 次の図2のように、実像ができているときは、物体の1点から出た光が凸レンズを通して1点に集まっていること、また、図3のように、虚像が見えているときは、物体から出た光が集まらないためスクリーンには映らないことを、それぞれ作図をさせながら整理をし、凸レンズによる光の屈折との関わりについて理解させる。そして、①の「それぞれの像（実像、虚像）ができる条件はどのようなものか。」について、虫眼鏡を使って近くのものや遠くのものを見たときの像や、虫眼鏡を通して映したタブレットの画面の像が、それぞれ、実像であるか虚像であるかを明確にさせ、まとめさせる。

図2

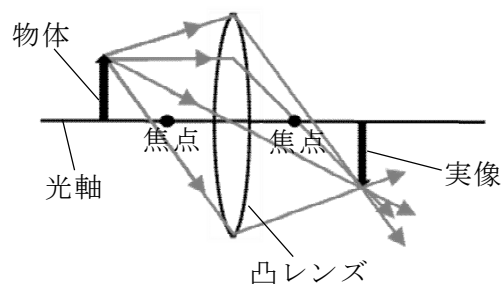
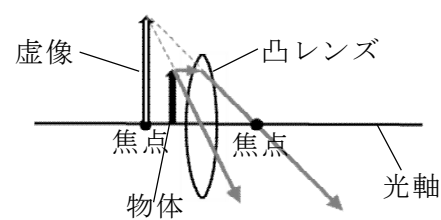


図3



英 語

1 出題のねらい及び正答率

英語で簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図るために必要な知識及び技能、思考力、判断力、表現力を総合的にみる。

各問題のねらい（以下、（ ）内のパーセントは正答率を示す。）

1 英語による放送を聞き、その内容を理解する能力及び自分の考えを表現する能力をみる問題である。

- A 対話の概要や要点を理解し、質問に対する応答として最も適切な英文や図を選ぶことができる。（No.1 95.5%、No.2 81.5%、No.3 57.3%）
- B 対話の概要や要点を理解し、対話を続けるための質問を英文で書くことができる。（14.4%）
- C 英文の概要や要点を理解し、依頼に対して適切に応答するために自分の考えなどを整理し、読み手に正しく伝わるように英文を書くことができる。（8.8%）

2 会話文を読み、その内容について総合的に理解する能力をみる問題である。

- 1 会話文の流れに合った適切な表現を選ぶことができる。（40.2%）
- 2 会話文の内容を的確に捉えることができる。（50.1%）
- 3 会話文の展開を的確に捉え、英文の入るべき位置を選ぶことができる。（54.7%）
- 4 会話文の流れに合った適切な表現を選ぶことができる。（55.5%）
- 5 会話文の概要や要点を理解し、適切な表現を選ぶことができる。（a 72.9%、b 35.6%、c 52.6%、d 49.9%）

3 長い文章を読み、その内容について総合的に理解し表現する能力をみる問題である。

- 1 文章の内容について、英語による質問に英語で適切に応答することができる。（（1） 16.3%、（2） 51.7%）
- 2 文章の流れに合った適切な語を考えて書くことができる。（47.1%）
- 3 指示された内容に合った適切な英文を選ぶことができる。（44.8%）
- 4 適切な英語の表現になるように、与えられた語を並べかえることができる。（19.6%）

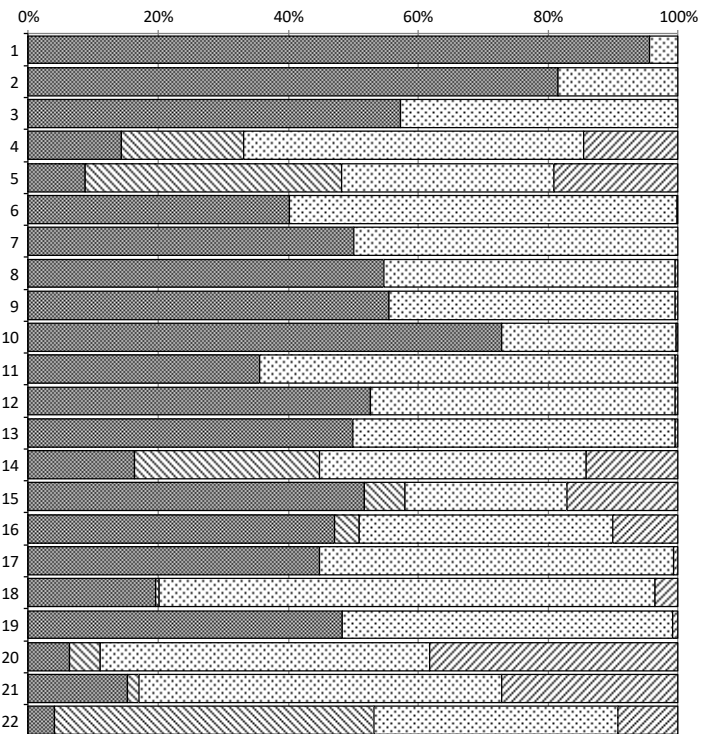
- 5 文章の内容に合った適切な英文を選ぶことができる。(48.3%)
- 6 (1) 文章の概要や要点を理解し、対話の流れに合った適切な表現を考えて書くことができる。(6.3%)
- (2) 英語の特徴やきまりを踏まえて、対話の流れに合った適切な表現を考えて書くことができる。(15.3%)

4 コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、表現内容を工夫してコミュニケーションを行う能力をみる問題である。

日常的な話題について、自分の考えを整理し、まとまりのある英文を書くことができる。(4.0%)

※正答率等詳細

英語		1	2	3	4	
問題番号		正答	部分正答	誤答	無答	
1	A	No.1	95.5	0.0	4.3	0.1
		No.2	81.5	0.0	18.3	0.1
		No.3	57.3	0.0	42.6	0.1
	B	14.4	18.8	52.3	14.6	
	C	8.8	39.3	32.7	19.1	
2	1	40.2	0.0	59.6	0.2	
	2	50.1	0.0	49.7	0.1	
	3	54.7	0.0	44.9	0.4	
	4	55.5	0.0	44.1	0.4	
	5	a	72.9	0.0	26.8	0.3
		b	35.6	0.0	63.9	0.5
		c	52.6	0.0	46.9	0.4
		d	49.9	0.0	49.6	0.5
3	1	(1)	16.3	28.5	41.0	14.1
		(2)	51.7	6.3	24.9	17.1
	2	47.1	3.9	39.0	10.1	
	3	44.8	0.0	54.5	0.7	
	4	19.6	0.5	76.3	3.6	
	5	48.3	0.0	50.8	0.9	
	6	(1)	6.3	4.8	50.7	38.2
(2)		15.3	1.7	55.8	27.2	
4	4.0	49.2	37.5	9.3		



■ 正答 □ 部分正答 □ 誤答 □ 無答

2 指導のポイント

上記の結果から、定着に課題がみられた4を取り上げて説明する。

(1) 出題の意図

この問題は、日常的な話題について、自分の考えを整理し、まとまりのある英

文を書く力が養われているかをみる問題である。

具体的には、家庭から出るごみを減らすために日常生活でできることについて、自分のアイデアと、そのアイデアによってごみを減らすことができると考える理由を、自分の経験を含めて書く問題として作成した。

(2) この問題が意図する力を育成するには

この問題が意図する力を育成するための学習指導として、例えば、次のようなことが考えられる。

【コミュニケーションの目的や場面、状況等の理解】

- ① 「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理して書く」という単元において、「読み手に自分の考えとそのよさを分かってもらうために、事実や自分の考えを整理し、文と文の順序や相互の関連に注意を払ったまとまりのある文章を書くことができる」という単元の目標を設定し、生徒と共有する。また、単元を中心となる言語活動として、海外の姉妹校の生徒に広島での滞在を楽しんでもらうデジタル・リーフレットを作成するために、そのリーフレットに掲載する情報についてのアイデアとその理由を、クラスメートに書いて伝えるという言語活動を行うことを告げる。

【目的に応じた発信までの方向性の決定・言語活動の見通し】

- ② 単元を中心となる言語活動において、読み手を意識し、自分の考えが伝わるような文章を書くために、どのような内容を含めるとよいのか考えさせる。例えば、内容として、掲載したい情報、その情報を掲載する効果、掲載する情報に関わる自分自身の経験などが考えられる。

また、まとまりのある文章とはどのようなものか、モデル文を読んで考えさせ、「導入－本論－結論」や「主題－根拠や具体－主題の言い換えや要約」など、文章構成の特徴を意識しながら、全体として一貫性のある文章を書くことが重要であることを確認させる。

【目的実現のための言語活動】

- ③ 生徒が話題に対する理解を深めたり、話題と自分の経験とを結び付けたりすることができるような活動を行う。例えば、自分自身が「旅行を楽しめなかった」経験について、ペアで伝え合う活動を行わせる。その後、個人で、話した内容を基に、「旅行を楽しむためにどんな情報があるとよいか」について、情報やキーワードをメモさせ、そのメモを基に簡単な語句や文を用いて文章を書かせる。ペ

アで互いの文章を読み合い、読み手は、その内容について質問したり、コメントを述べたりする。

- ④ グループで、姉妹校の生徒が広島での滞在を楽しむためにどのような情報があるとよいのか考えさせる。言語や文化の違いも踏まえて、どのような情報が役に立つか考え、共有させる。姉妹校の生徒とのオンライン交流の機会を設け、姉妹校の生徒にインタビューをしてその内容を参考にすることなども考えられる。
- ⑤ ③・④の学習を基に、リーフレットに掲載する情報についてのアイデアとその理由について、個人で文章を書かせる。英語での表現が難しいことについては、既習の語句を用いて表現できることはないか学級全体で考える。書いた文章はクラウド上で保存し、他の生徒も参照できるようにする。
- ⑥ ⑤で書いた文章をグループ内で読み合い、②で確認した、まとまりのある文章になっているかという観点からの気づきを交流させる。交流を踏まえて、文の順序を入れ替えたり、内容を加えたり削ったりするなどして推敲させ、文章を完成させる。

【まとめと振り返り】

- ⑦ 完成した文章を教師が確認し、「アイデアとそのよさが分かるように書かれているか」、「まとまりのある文章になっているか」という点からよかったものをいくつか紹介するとともに、共通して見られた文法や語法などの誤りについてフィードバックを行う。生徒は、自分の文章を自己評価し、今後の学習改善につなげる。

本単元で書いた文章を基にリーフレットに掲載する情報を決定し、実際にリーフレットを作成するなど、発展的な言語活動につなげることも考えられる。

国語

(9:10~10:00)

注 意

- 1 検査開始のチャイムが鳴るまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙の1ページから13ページに、問題が一から四まであります。
これとは別に解答用紙が1枚あります。
- 3 問題用紙と解答用紙に受検番号を書きなさい。
- 4 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号	第	番
------	---	---

一 次の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(6)の㉠～㉦について、漢字には読みを書き、カタカナにはそれに当たる漢字を書きなさい。

- (1) 意見を、簡潔に述べる。
- (2) ウェブサイトを、閲覧する。
- (3) 海外進出を、企てる。
- (4) 友人の活躍を、ギタイする。
- (5) 荷物を受付に、アズける。
- (6) ケワしい山道を登る。

2 「夏休みに作文を書く。」の「作文」と熟語の構成が同じものを、次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

- ア 国立 イ 売買 ウ 善良 エ 防水

3 「美しい里山の風景を眺める。」の「美しい」の品詞名を、次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

- ア 動詞 イ 形容詞 ウ 形容動詞 エ 副詞

問題は、次のページに続きます。

国一2

二次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

① それでいいんだって言われた気がした。

その丸い瞳はまるで水晶のようで、ふわふわの毛は上等な真綿のようで、私は目の前にいる子猫にすっかり心を奪われてしまった。ただそこにいるだけなのに。確かな生命を宿していることが、なんだかすごく嬉しかった。

「こんなこげ茶色の毛は珍しいのよ。」

顔をほころばせながら、多津子さんが言った。

多津子さんはお母さんの妹で、私の叔母にあたる。保護猫の活動をしていて、我が家にもその「こ縁」が訪れたのだ。

お母さんと多津子さんは、子どもの頃から何度か猫と暮らしたことがあるらしい。でも私にしたら、今までうちにいた生きものは夏祭りの屋台ですくつてきた金魚だけだ。体温のある動物は初めてで、私の隣でお姉ちゃんも興奮を隠せずにいる。

生まれてから一カ月ぐらいの男の子だというその子猫は、多津子さんの腕に抱かれてあたりをきょときょと見回している。そのサイズ感といったら、私の手のひらに載っちゃうんじゃないかと思うくらいに小さい。トライアルといって、二週間、共に生活してから正式に迎え主になるかどうかを決めるのだという。

① 早く二週間が過ぎないかな。この子が安心してできるように、信頼してもらえるように、私は何をすればいいんだろう？

国一3

家に帰ってきたらこの子がいるなんて、ずっと一緒に過ごせるなんて、幸せすぎる。この春、中学生になったばかりの私への、神様からの入学祝いなのかもしれない。

多津子さんが、カーペットの上に子猫をそっと下ろした。私は思わず、なでたくなつて手を伸ばす。子猫はびくつと体を震わせて顔を上げた。お姉ちゃんが「こわがらせちゃダメじゃん。」と言う。こわがらせたつもりはないし、お姉ちゃんの言い方も気に入らないけど、もしそうだったらごめん。私が手を引つ込めたのと、お姉ちゃんがさつと子猫を抱き上げたのが、同じタイミングだった。

子猫がいやがるふうでもなく、おとなしくお姉ちゃんの胸におさまったので、私はざらついた気持ちになる。いつもそうだ。お姉ちゃんは、私のやることなすことにケチつけて、自分のいいように事を運んで、得意がっている。

でも、そんなとげとげした感情は、子猫のピンク色の肉球を見ていたらやわらいでいった。

まあ、いいや。早い者勝ちってわけじゃないし。ちょっとずつ仲良くなればいい。

多津子さんは私たちに注意事項を説明してくれたあと、お母さんと少し世間話をして、壁掛け時計を見やると立ち上がった。

玄関まで見送ろうと私も立つと、多津子さんは「ああ、そうだ。」とバッグの中に手を入れた。

「はい、分けて食べてね。」
手渡されたのは、一枚の板チョコだった。私はそれを受け取り、「あ

りがとうございます。」と頭を下げる。

わざわざ買ってきてくれたというよりは、多津子さんも誰かからもらって、そのまま流してきたという感じだった。どこでもよく見かける。昔馴染みのミルクチョコプレート。

「それじゃ、また来るわね。」

多津子さんは片手を振り、居間から出て行く。お母さんが玄關までついていった。

私は板チョコを手にしたまま、子猫を見ながら思った。

チョコ。

この猫、チョコプレート色だ。そうだ。

「ねえ、名前、チョコにしようよ。」

名案だと思って私がおちかけると、お姉ちゃんは

「そのまんますぎじゃない？ チョコだと女の子っぽいし。」

そしてちょっと考えてから、こう言った。

「カカオ、とか。うん、カカオにしよう。」

もう決定みたいにお姉ちゃんは子猫を「カカオ。」と呼んだ。えらそうにされてムカつくけど、でもたしかに、ちょっとひねりが利いていてオシャレな感じがする。この子にはそのほうがしっくりくる気がした。

お姉ちゃんにはいつもかなわない。認めたくないけど。

お姉ちゃんと私の年齢はひとつしか違わない。「年子」というやつだ。

だからもちろん、私はお姉ちゃんと初めて会った日のことなんて覚えていない。

りも飛んじやうから。あと、防虫とか。」

「……抜いづらいう菓子だね、チョコって。」

「そうだね。だけど、チョコには充分な実力があるから、これくらい大事にされて然るべきなんだよ。」

お姉ちゃんはおおまじめに言った。

そう、お姉ちゃんは、まじめな人なんだと思う。すぐあきらめたくなくちやう私とは違って。あの自信みたいなものは、ちゃんと努力してるからだ。そして、私にはうまく説明できないけど、言ってることがたまにちょっと深い。

私はお姉ちゃんに嫉妬しながら、反発しながら、絶対こんなふうになりたくないか思いながら、すごいなって、尊敬もしている。お姉ちゃんがちょっとでも落ち込んでいるとすごく心配になるし、たとえ私のことをばかにしながらだって、元気で笑っているほうがほっとする。

私はやっぱり、お姉ちゃんのことを大好きなのだ。きっと生まれたときから。

姉妹関係の不可解で複雑な思いは、板チョコみたいに割り切れない。私はお姉ちゃんに対するいろいろな気持ちを、薄い銀紙で守っている気がする。

「きれいに割るの、難しいよ。」

銀紙で光る板チョコを持ったまま、私がおちかたしていると、お姉ちゃんが「貸して。」と奪っていった。

テーブルの上にお皿を置き、お姉ちゃんは華麗な手つきで板チョコと向き合う。

私が生まれたときに産院で一緒に撮った家族写真はあつけど、お姉ちゃんだってまだ赤ちゃんと書いていいぐらいで、妹という闯入者が現れた事情を理解もしていなかったと思う。同じ状況になったときの心境なんて、たやすく想像できる。

多津子さんから「分けて食べてね。」と言われた板チョコ。

正直に言うと、私はこんなふうには「分ける」というのが苦手だ。あらかじめ数がつきりしているならともかく、きっちり等分にならないものは本当に困ってしまう。

板チョコなんて、その最たるお菓子だ。ブロックには溝が刻まれているけど、私はこれを上手に割ることができない。

だからといって、たとえばこっそりひとりじめするのもつまらないと思う。そんなことしたって、楽しくなくて美味しくないって知ってる。

お母さんが戻ってきて、子猫用のお皿にお水を入れて床に置いた。子猫は身をよじらせてお姉ちゃんから離れる。

お姉ちゃんは、子猫が行ってしまったことには未練もなさそうに、私のほうへ向き直った。

「チョコ、食べようよ。」

私はうなずき、外側の包装紙をはがした。チョコプレート全体をくるんでいる銀紙が、蛍光灯に照らされてまぶしく目に映る。

「この銀紙って、けっこうやっかいだよな。」

私が言うと、お姉ちゃんはおちかぶり振った。

「でも、品質保持のためにはやっぱり板チョコには銀紙がないとさ。チョコって光にも水にも高温にも弱いし、ちょっと酸素に触れただけで香

お姉ちゃんはきつと、上手に割るコツとか知ってるんだろう。ていねいに、均等に。

そう思いながら、お姉ちゃんの手元を見ていたら、銀紙ごと威勢よくはきはきと割り出したのでびっくりした。お皿の上には、破れた銀紙がついたままの不揃いなチョコのかけらがある。きつちりと、家族の人数分。

「きれいに割れなくなつていいじゃん。みんなで食べれば、美味しいのは変わらないよ。」

私は思わず吹き出してしまった。

きれいになんか、割れない気持ち。それでいいんだって言われた気がした。

そうだよな。私がお姉ちゃんのことを、結局大好きなのは変わらないんだもの。

生まれてからまだ間もない子猫は、これから私たちのことを、家族と思ってくれるだろうか。

今日の日のこと、大きくなってからも覚えていてくれるかな。

だけど、出会ったときのことを忘れてしまいくらいに、私たちと暮らすことが当たり前前の自然なことになってくれたら、もつといい。

チョコプレート色の気高い輝きを、私は少し離れたところからそつと愛でた。

（青山美智子「チョコプレート・ピース」による。）

(注) 聞入者 Ⅱ 突然、断りもなく入り込んできた者。

1 早く二週間が過ぎないかなとあるが、「私」がこのように思ったのはなぜですか。四十字以内で書きなさい。

2 に当てはまる最も適切な表現を、次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

- ア 目を細くする
- イ 首をひねる
- ウ 指をくわえる
- エ 膝を打つ

3 それでいいんだって言われた気がしたとあるが、これについて、国語の時間に、生徒が班で話し合いをしました。次の【生徒の会話】はそのときのものです。これを読んで、空欄Ⅰに当てはまる適切な表現を、三十字以内で書きなさい。

【生徒の会話】

清水… この小説は、この言葉で始まるけれど、「それでいいんだ」とは、どういうことで、なぜこの言葉が小説のはじめにあるのだろう。

川上… この小説の中で重要な意味をもつ言葉なのかな。

村上… この小説では、子猫が家にやってきた日に、妹が姉とのやりとりの中で抱く気持ちが描かれているよね。

藤井… そうだね。「それでいいんだ」とは、姉の言動を見聞きした妹が、(Ⅰ) と思えたと思うよ。

清水… なるほど。この小説において重要な言葉なのかもしれないね。

国一6

4 ^① お姉ちゃんの手元を見ていたら、銀紙ごと威勢よくばきばきと割り出したとあるが、次の【文章A】は、この場面に至るまでを姉の視点から描いたものです。【文章A】を読んで、あとの(1)・(2)に答えなさい。

【文章A】

子猫は私に抱かれながら、あたりを見回している。不安と好奇心が混じって光る、透き通った丸い腫で。
 あったかい命のかたまりを感じていたら、じんわりと心がほぐれていった。
 そして、妹に対してイヤな言い方をしてしまったなと、反省した。「そうでなければならぬ」「そうしてはいけない」「って、私の口グセだし、思いグセだ。相手に対しても、自分に対しても。本当は優しくしたいのに、良くないことだとわかっているのに、何度も「しまった」と思うのに、どうしてNGばかりの強い口調になってしまうんだろう。

お母さんが水の入った皿を運んでくる。
 子猫が腕から降りていったので、私は妹に声をかけた。
 「チョコ、食べようよ。」
 妹はうなずいたけど、板チョコの包みをはがしながら、きれいに割るのが難しいと言って苦戦している。
 きれいに等分して割らなくてはいけない、なんてことはないのだ。凝り固まった自分のルールを、ここでちよつと割ってみよう。
 私は妹から板チョコを受け取り、勢いよくばきばきと割った。

(青山美智子「チョコレート・ピース」による。)

国一7

(1) 妹に対してイヤな言い方をしてしまったなとあるが、具体的に本文中のどの発言ですか。最も適切な発言を、次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

- ア 「こわがらせちゃダメじゃん。」
- イ 「カカオ、とか。うん、カカオにしよう。」
- ウ 「チョコ、食べようよ。」
- エ 「そうだね。だけど、チョコには十分な実力があるから、これくらい大事にされて然るべきなんだよ。」

(2) 次の【ノート】は、ある生徒が、本文と【文章A】を読んで、この場面についてまとめたものです。空欄Ⅱに当てはまる適切な表現を、二十五字以内で書きなさい。また、空欄Ⅲに当てはまる適切な表現を、五十字以内で書きなさい。

【ノート】

○ 妹がチョコを割る場面の比較

妹は、妹がチョコを (Ⅱ) (Ⅰ) 割るだろうと思っていたが、実際には、銀紙ごと威勢よく割り出した。

姉は、(Ⅲ) (Ⅰ) という思いから、チョコを勢いよく割った。

問題は、次のページに続きます。

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

みなさんにも、「弱ったな、どうしたらいいか全然わからないぞ」と思った経験があるのではないだろうか。例えば、数学の問題を解いているとき、外国語で話しかけられたときなど、自分にとって解決が難しい問題に直面したときに、よくこういう気持ちになりますね。逆に、クイズの答えが分かったときや、問題解決の糸口が見つかったときに、「わかったぞ！」とか「ああそうだ、これで解決できるぞ！」と嬉しくなった経験もあるのではないだろうか。

こういった経験は、私たちが自分自身の頭の中がどういう状態になっているかを把握しているということを表しています。「頭の働き」のことを「認知」と呼びますが、「わかった」とか「わからない」といった感覚は、私たちが自分自身の「認知」を把握しているということを指しています。「認知を把握する」ことも「頭の働き」ですから、これは「認知」の「認知」ということになります。この表現ではわかりにくいので、自分の頭の中がどうなっているかを適切に把握することは「メタ認知」と呼ばれています。「メタ」というのは「一段上の」という意味です。ですから、メタ認知は「(認知の)一段上の認知」という意味になりますね。

メタ認知をうまく働かせることは、さまざまな課題を実行したり、問題を解決したりするうえでとても重要です。数学の問題を解いているときの例でいうと、「わからない」ということに気づけば「違う解き方をしてみよう」とか「もう一回教科書の例題を確認しよう」といったよう

に、自分の取り組み方を変更するきっかけを作ることができるからです。英単語や資格試験に必要な知識などを覚えようとしているときも、「まだ覚えられていない」ことがわかっていれば「もう少し勉強しよう」と勉強を続ける判断をしやすいですが、まちがって「もう大丈夫」と考えてしまったら「勉強は終わりでいいや」と判断してしまうでしょう。よりよい理解のためにはメタ認知が適切に働いて「わからない」ことが分かることが重要だと言えます。「わかった」「わからない」のような、頭の中の現状把握をする働きを、特に「メタ認知的モニタリング」と呼んでいます。

メタ認知的モニタリングで「わからない」ことが把握できたとして、それで終わっては意味がありません。「違うやり方でやってみよう」と方向性を変えたり、「このままもう少し続けよう」と続行したりする判断ができることも重要です。このとき、自分の進む方向を指し示すような頭の働きは「メタ認知的コントロール」と呼ばれています。

①メタ認知的モニタリングとコントロールそれぞれがうまく働き協調することで、私たちはよりうまく問題に立ち向かうことができるのです。しかし、これがうまくいくためにはいくつか必要な知識があります。そのうちの一つが、「人に関する知識」です。たとえば、「電話番号を一回聞いただけで覚えるのは難しい」とか「睡眠不足だと頭が働かない」というような人間一般の認知のあり方について、あるいは「自分が一番集中して勉強できるのはリビングのテーブルだ」というような自身の認知のあり方の特徴についてわかっていることがモニタリングやコントロールに関わる「人に関する知識」です。

また、「課題に関する知識」も重要です。例えば、取り組もうとしている課題がどのくらい難しいかが分かることは、モニタリングをうまく働かせるためには特に重要です。

さらに、「方略に関する知識」も適切なモニタリングとコントロールには必要な知識です。ある問題を解くためにどのようなやり方ができるのか、今自分はどういうやり方をしているか、どんなやり方に変更できるか、知識がなければ判断することができません。

ここまで、メタ認知について、「問題を解いている状況」やなにか「解決したい課題があるとき」を念頭にお話ししてきましたが、文章を読んでいるときも、メタ認知の働きは重要です。たとえば、あなたが、ここまでの説明を読んで「なんだか抽象的でよくわからないな」と思っているとしたら、それは読解においてあなたの「メタ認知的モニタリング」が（おそらく適切に）働いているという証拠です。このモニタリングを受けて「もう一回読んでみよう」とか、「別の本に説明があるか見てみよう」「例えばどういうことか自分で例を挙げてみよう」などいくつかのやり方が思い浮かんだとすると、それは前に書いたような知識を使いつながりながらメタ認知的コントロールが働いているということです。「わからない」ということが適切に把握できたとしても、その先どうするか、うまくコントロールするためには必要であるということです。メタ認知はうまく働いてくれるときばかりではありません。人はときに「わかったつもり」になってしまつて、自分がうまく理解できていないことを見逃したり、「わからないな」と把握しても「まあいいか」と放置してしまうこともあります。

1 に当てはまる最も適切な語を、この文章の第三段落以降から二字で抜き出して書きなさい。

2 メタ認知的モニタリングとコントロールそれぞれがうまく働き協調する」とあるが、これはどのような頭の働きですか。四十字以内で書きなさい。

3 文章の中に明らかな矛盾があつても、その矛盾を無視してしまうというメタ認知的モニタリングの失敗が起こることがあります」とあるが、これについて、国語の時間に、生徒が班で話し合いをしました。次の【生徒の会話】はそのときのもので、これを読んで、あとの(1)・(2)に答えなさい。

【生徒の会話】

和田… 本文の事例においては、筆者が述べていることによると、メタ認知的モニタリングの失敗は、() によつて防ぐことができるといえそうだな。

青木… そうだね。文章を読むときには、気を付けるとよいね。これは、文章を推敲するときにも役立つそうだな。

西田… 確かに。このことに気を付けて、この前書いた意見文をお互いに読み合つてみよう。

(1) 空欄Iに当てはまる最も適切な表現を、本文中から二十二字で抜き出して書きなさい。

たとえば、文章の中に明らかな矛盾があつても、その矛盾を無視してしまうというメタ認知的モニタリングの失敗が起こることがあります。子どもの認知についてたくさんの研究をしたマークマンは、小学校三年生に次のような文章を読ませて、こうした失敗が生じることを示しています。

アリは遠くまで出かけるので道に迷わないように特別な方法を使います。帰り道を見つげられるように、目に見えない印をつけるのです。アリたちはどこかに行くとき体から特別な化学物質を放出します。この化学物質は目に見えませんが、特別な臭いがあります。この化学物質の臭いを嗅ぐための鼻が必要です。アリに関してほかのお話をするとき、アリには鼻がありません。アリは、決して道に迷いません。

大学生はこのような文章を読むとすぐに「おかしい」と気づきますが、小学生の多くはこの矛盾に気が付きません。この研究の面白いところは、「なにか筋が通らないところがあるかもしれない。筋が通らないというのはこういうことです」と説明してから矛盾点を見つけるように指示すると、小学生も矛盾を見つけられるということです。つまり、小学生だから記憶力が少ないのだから、とか矛盾することが理解できないのだから、という推測は誤りで、「矛盾するところを見つけよう」という心の準備をすれば、適切にメタ認知的モニタリングを働かせることができるということです。

(犬塚美輪 「読めば分かるは当たり前？」による。)

(2) 西田さんと青木さんは、会話のあとに互いの意見文を読んで、アドバイスを行うことにしました。次の【意見文】は、西田さんが書いたもので、あとの【アドバイス】は、青木さんが、西田さんに対して行ったものです。これらを読んで、空欄IIに当てはまる適切な表現を、百字以内で書きなさい。

【意見文】

私は、人に何かを伝えるときに一番大切なことは、誤りのない正確な表現で伝えることだと考えている。伝えたいことがあつても、誤りのない正確な表現でなければ、伝えたいという思いだけでは、絶対に相手には伝わらない。

私がこのように考えるのは、海外からの観光客から英語で道をたずねられた出来事がきっかけとなつている。そのとき、誤りのない正確な表現で伝えることができなかったが、精一杯伝えようと努力した。すると、私の伝えたいという思いが通じたのか、私の伝えたいことを伝えることができた。観光客の方からは、とても感謝してもらえ、私も伝えることができてうれしかった。

【アドバイス】

西田さんが書いた意見文について、文章の筋が通つているかという観点からアドバイスすると、() になつているため、筋が通らないと思うよ。

問題は、次のページに続きます。

国一12

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

花山院右大臣、或夜の夢に、摩利支天枕上に立ち給ひて、「汝^①司位は高けれども宝には貧し。もし我を祭らば、七珍万宝心のままな^{お前}は平仮名高いれどぞ。」

るべし。」と正しき告げ有りしを、大臣は何とも思ひたらで居給ひしに、^{思ひなごいでいらしめつたことなど}

三夜までうち続きで同じ様に見えければ、親しきあたりにかくと物^{お話し}

語られしかば、人々有り難き事に思ひて、「いざ疾く祭り給へかし。」^③

といひければ、「いやとよ、朝に仕へる身は、清きを願ひて貧しきを厭^{いと}

はず。」とて、終に祭り給はざりしとぞ。^④

〔落栗物語〕による。

(注一) 摩利支天 〓 神の名前。

(注二) 朝 〓 朝廷。

1 給ひての平仮名の部分を、現代仮名遣いで書きなさい。

2 かくはどのようなことを指していますか。現代の言葉を用いて、四十五字以内で書きなさい。

3 「いざ疾く祭り給へかし。」とあるが、次の文は、この発言について述べたものです。空欄Ⅰ・空欄Ⅱに当てはまる最も適切なものを、それぞれあとのア～ウの中から選び、その記号を書きなさい。

(Ⅰ) から (Ⅱ) に向けられた発言。

ア 花山院右大臣 イ 摩利支天 ウ 人々

4 祭り給はざりしとあるが、それはなぜですか。現代の言葉を用いて、四十字以内で書きなさい。

国一13

社 会

(10:20~11:10)

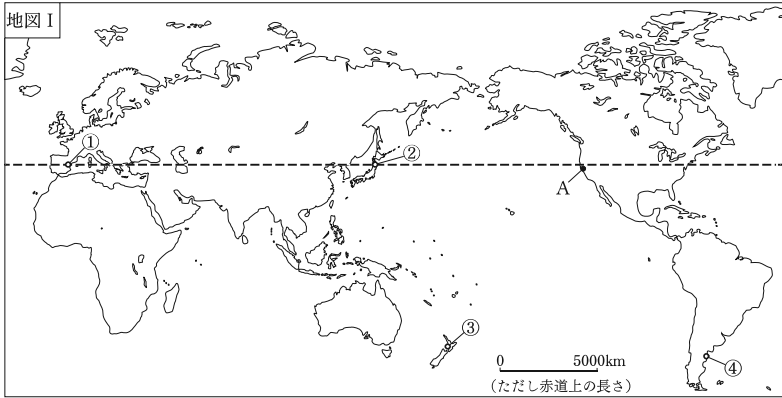
注 意

- 1 検査開始のチャイムが鳴るまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙の1ページから14ページに、問題が①から④まであります。
これとは別に解答用紙が1枚あります。
- 3 問題用紙と解答用紙に受検番号を書きなさい。
- 4 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号	第	番
------	---	---

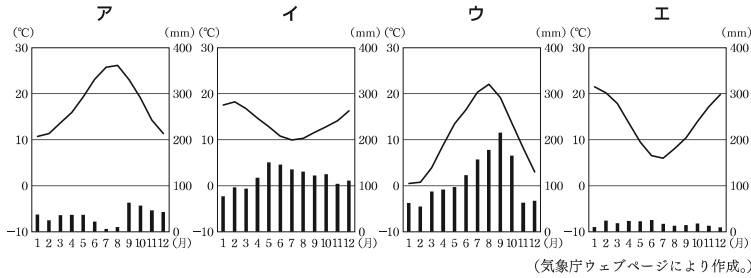
① あとの1～3に答えなさい。

1 次の地図Iを見て、下の(1)～(3)に答えなさい。



(1) 地図I中のAに位置し、先端技術産業の研究拠点となっている大学や、ICT関連企業が集まっている地域を何といますか。その名称を書きなさい。

(2) 次のア～エは、地図I中の①～④の都市のいずれかの雨温図を示しています。ア～エの中で、③の都市の雨温図に当たるものはどれですか。その記号を書きなさい。



(3) 地図I中の破線(----)は、次のア～エの山脈や河川を通る北緯40度の緯線を示しています。本初子午線からこの緯線上を東回りに進んだとき、ア～エの中で、2番目に通るものはどれですか。その記号を書きなさい。

- ア アパラチア山脈 イ 北上川 ウ 黄河 エ ロッキー山脈

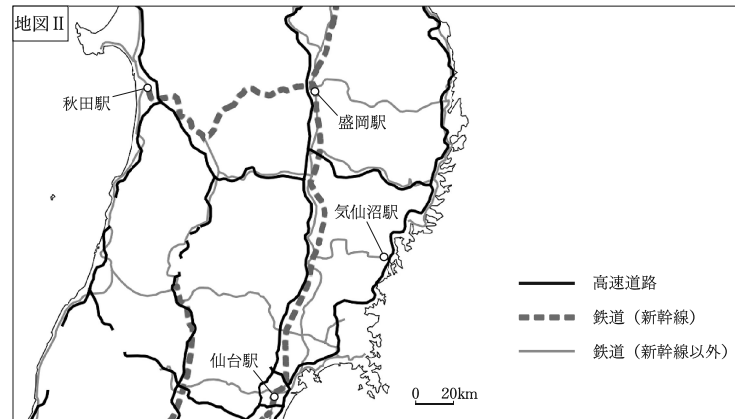
2 次の表Ⅰは、仙台駅からX～Zの駅までの自動車または鉄道による所要時間を示しています。表Ⅰ中のX～Zには、下の地図Ⅱ中の秋田駅、盛岡駅、気仙沼駅のいずれかが当てはまります。あとのア～カの中で、表Ⅰ中のX～Zに当てはまる駅の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

表Ⅰ 仙台駅からの所要時間

(分)

駅	X	Y	Z
自動車（高速道路の利用を含む）	143	145	197
鉄道（新幹線の利用を含む）	129	39	139

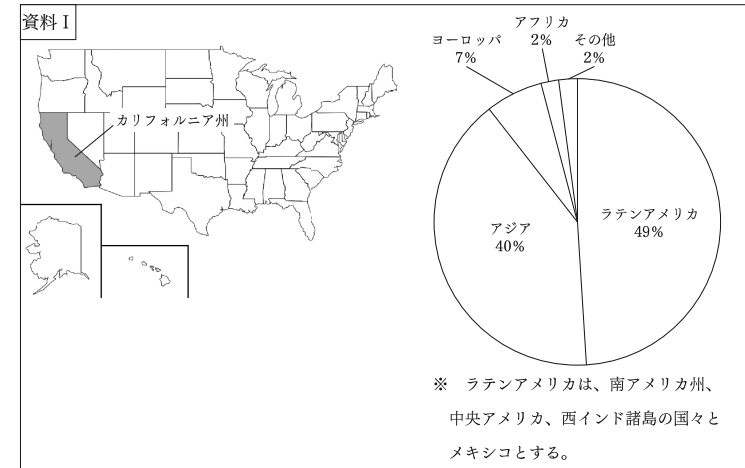
※ 出発日時は全て同一に設定しており、所要時間の最も短い経路を選択している。鉄道は乗り換え時間を含む。



(地理院地図Vectorにより作成。)

	X	Y	Z
ア	秋田駅	盛岡駅	気仙沼駅
イ	秋田駅	気仙沼駅	盛岡駅
ウ	盛岡駅	秋田駅	気仙沼駅
エ	盛岡駅	気仙沼駅	秋田駅
オ	気仙沼駅	秋田駅	盛岡駅
カ	気仙沼駅	盛岡駅	秋田駅

3 次の資料Ⅰは、カリフォルニア州の位置及びその州の2023年における、アメリカ合衆国以外で生まれた人々の出身地域別人口割合を示しています。下の文章は、カリフォルニア州で家庭において話される言語とその背景について述べたものです。資料Ⅰを基に、文章中の a ・ b に当てはまる適切な語をそれぞれ書きなさい。また、文章中の c には、どのような内容が当てはまりますか。簡潔に書きなさい。



※ ラテンアメリカは、南アメリカ州、中央アメリカ、西インド諸島の国々とメキシコとする。

(U.S. Censusにより作成。)

カリフォルニア州は、家庭において英語以外の言語を話す人々の割合が、アメリカ合衆国の全ての州の中で最も高い。カリフォルニア州で家庭において英語以外の言語を話す人々のうち、最も多くの人々が話す言語は、 a 語である。これは、 b と呼ばれる人々が、主に c しているためと考えられる。

社一2

社一3

2 次の略年表は、日本と外国との関わりに関することがらについてまとめたものです。あとの1～6に答えなさい。なお、略年表中のあといは、それぞれ ←→ の示す期間を表したものです。

世紀	日本と外国との関わりに関することがら
7	聖徳太子が小野妹子らを隋へ派遣した。 あ ↑ ↓
9	A 菅原道真が遣唐使の派遣停止を訴えた。
13	B 元が二度にわたり日本へ襲来した。
16	C 豊臣秀吉が宣教師の国外追放を命じた。
18	ロシア使節のラクスマンが根室に来航した。 い ↑ ↓
19	岩倉使節団が欧米諸国を訪問した。

1 次のア～エの中で、略年表中あ～いの期間の政治の仕組みについて述べた文として最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

- ア 国ごとに守護が、荘園や公領ごとに地頭が置かれた。
- イ 国には国司が派遣され、郡には郡司が置かれた。
- ウ 中央から府知事・県令が派遣され、統治にあたった。
- エ 幕府と藩が各地の土地と民衆を支配した。

2 Aの頃、唐風の文化を基礎にしなが、日本の風土や生活に合った文化が発達しました。この文化を何といいますか。その名称を書きなさい。

3 次の資料Iは、Bのことがらのち、ある御家人によって書かれた領地の相続に関する文書の一部をまとめたものです。また、下の文章は、この文書が書かれた背景について述べたものです。文章中の a ・ b には、どのような内容が当てはまりますか。資料Iを基に、それぞれ簡潔に書きなさい。ただし、b は、「領地」の語を用いて、書きなさい。

資料I
私が先祖から受け継いできた領地を、嫡子（家の跡継ぎとなる子）に譲る。今までのように、嫡子以外の子にも、領地の一部を譲るべきだが、嫡子以外の子に譲ると、幕府に緊急事態があったときに対応できないため、嫡子一人に譲ることとする。

この文書が書かれた頃の社会では、鎌倉幕府から支配を認められた領地を a する慣習があった。これが数世代にわたり繰り返されてきたことで、御家人たちの b ために、新たな戦いが発生しても、軍役や経済的負担を負うことができず、奉公の義務も果たせない状況が生じていた。この状況から脱却するため、資料Iのように相続方法が変更されたと考えられる。

4 次の資料IIは、Cの頃に発令された刀狩令の一部と、その目的と影響について述べたものです。下のア～エの中で、資料II中の c ・ d にそれぞれ当てはまる語の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

資料II
[刀狩令の一部]
一 諸国の c が、刀やわきざし、弓、槍、鉄砲、そのほかの武器などを持つことは固く禁止する。
[目的と影響]
・ d などの武力による抵抗を防ぐことを目的とした。
・身分に対応した職業で生活するという近世社会の仕組みを整えることにつながった。

- ア [c 武士 / d 米騒動
- イ [c 武士 / d 一揆
- ウ [c 百姓 / d 米騒動
- エ [c 百姓 / d 一揆

5 次の資料Ⅲは、略年表中の期間に含まれる1840年から1857年の間に、オランダが幕府に提出した海外情報である別段風説書の一部を示したものです。また、下の文は、幕府が海外情報を求めて別段風説書を提出させた理由について述べたものです。あとのア～エの中で、資料Ⅲ中の に当てはまる語と、文中の に当てはまる内容の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

資料Ⅲ
 舟山は貿易にとって最も重要な場所だった。南京条約において、香港の代わりに、この港の所有権を規定しておかなかったことは、 にとって嘆きの種であった。
(別段風説書により作成。)

幕府が別段風説書を提出させたのは、この頃、 状況があり、詳しい海外情報をつかんでおく必要性を感じていたためである。

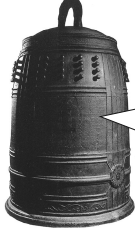
- ア e イギリス
- ア f アヘン戦争が起こり、大きな衝撃が広がっていた
- イ e イギリス
- イ f 三国干渉により、ロシアへの対抗心が高まっていた
- ウ e オーストリア
- ウ f アヘン戦争が起こり、大きな衝撃が広がっていた
- エ e オーストリア
- エ f 三国干渉により、ロシアへの対抗心が高まっていた

社—6

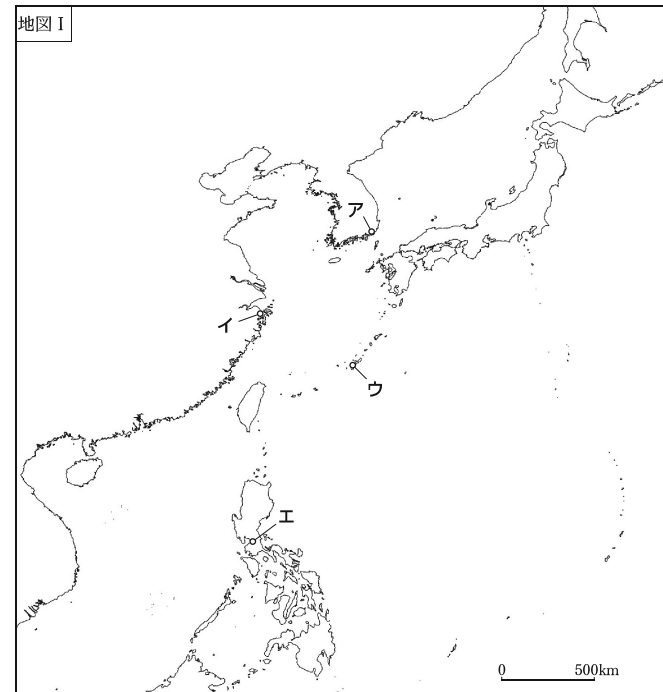
6 日本と外国との関わりの様子を今に伝えるものとして、「万国津梁の鐘」があり、次の資料Ⅳは、この鐘とその銘文の一部を示しています。この鐘は1458年につくられ、資料Ⅳ中のX国にかけられていたもので、その銘文には、X国と近隣の国々による盛んな交易の様子が表れています。下の地図Ⅰ中のア～エの中で、X国の貿易港の場所として適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

資料Ⅳ

万国津梁の鐘



[銘文の一部]
 X国は美しい地にあり、朝鮮の優れた文化を集め、中国や日本と密接な関係にある。
 X国は船を操って世界の架け橋となり、異国の産物や宝物が国内に満ちている。



社—7

3 あとの1～6に答えなさい。

1 次の資料Iは、日本国憲法第25条の一部を示したものです。この条文によって保障されている基本的人権を何といいますか。下のア～エの中から、最も適切なものを選び、その記号を書きなさい。

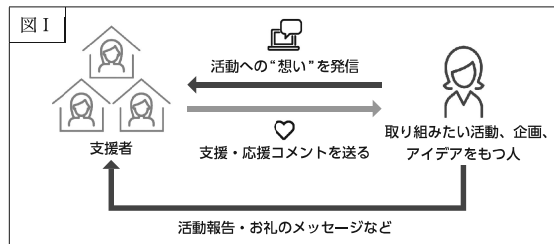
資料I
すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

ア 経済活動の自由 イ 生存権 ウ 法の下での平等 エ 請願権

2 次のア～エは、日本の社会保障制度のうち、社会保険または公衆衛生の事例です。ア～エの中で、公衆衛生の事例として適切なものを全て選び、その記号を書きなさい。

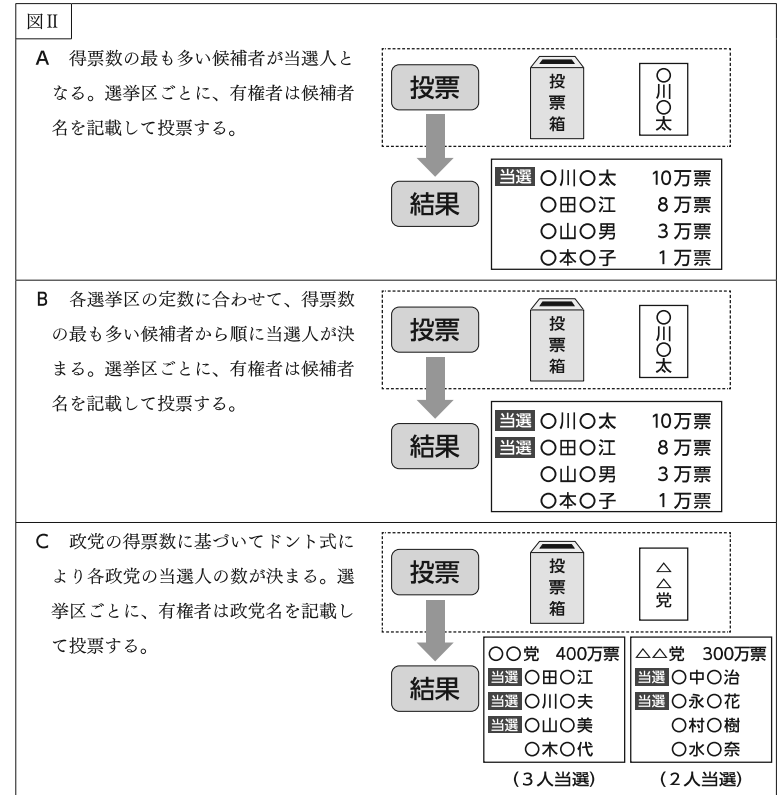
ア 麻しん（はしか）の予防接種を、幼児期に無料で受ける。
 イ 病院を受診した際、医療費の一部のみを負担し、支払う。
 ウ 保険料を納めた人が、一定の年齢に達し、年金を受給する。
 エ 地方公共団体が、上下水道を整備する。

3 情報通信技術の発展とともに、金融の新しい動きが生まれています。次の図Iのように、取り組みたい活動、企画、アイデアをもつ人が、インターネットを利用して活動への想いを社会に呼びかけ、広く支援者から資金などの支援を集める仕組みを何といいますか。その名称を書きなさい。



(消費者庁資料により作成。)

4 次の図II中のA～Cは、それぞれ異なる選挙制度とその投票方法を示しています。下のア～オの中で、令和6年10月に実施された第50回衆議院議員総選挙における選挙制度とその投票方法として適切なものを選び、その記号を書きなさい。



ア AとC イ BとC ウ Aのみ エ Bのみ オ Cのみ

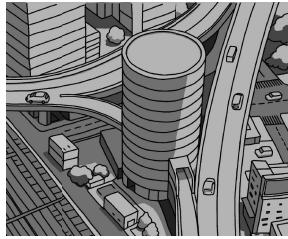
5 近年、国または地方公共団体による規制緩和が進められています。次のア～エの中で、日本における規制緩和の事例として最も適切なものを選び、その記号を書きなさい。

ア 年末年始に、旅館が宿泊料金を通常よりも値上げする。
 イ 少数の企業が相談して、製品の生産量や価格を決定する。
 ウ コンビニエンスストアなどで、一部の医薬品を販売する。
 エ バス運転手の1日に取るべき休息期間を延長する。

6 次の資料Ⅱは、D市における道路建設についての経緯を示しています。資料Ⅱの事例についてまとめた下の文章中の ・ には、どのような内容が当てはまりますか。それぞれ簡潔に書きなさい。

資料Ⅱ

D市では、市の中心部にあるD駅周辺の交通渋滞を減らすため、D駅周辺に、都市高速道路の出口を設置する都市計画を策定した。都市計画に基づき、都市高速道路を運営するX社が新たに設置する出口付近の土地を買取しようとしたが、そこでは民間企業のY社が長年、事業を営んでいた。X社は土地所有者のY社に買取に対して理解を求めたが、その土地は非常に利便性の高い場所であったため適当な代替地がなく、移転するとY社の事業に大きな支障があり、交渉は難航した。



ちょうどその頃、道路に関する法律が改正され、道路の上空に建物を建設することを可能とする制度がつくられた。X社はこの制度を利用し、Y社と合意に至ることができた。Y社は他の土地に移転することなく、右の図のような都市高速道路が貫通したビルを新たに建設し、事業を続けることができた。

「効率」が「より少ない資源を使って社会全体でより大きな成果を得る」という考え方であるとするとき、資料Ⅱの事例では、 ことが「効率」に当たる。また、「公正」が「不当に不利益を被っている人をなくす」という考え方であるとするとき、資料Ⅱの事例では、合意の内容を踏まえると、 のないようにすることが「公正」に当たる。

社—10

4 ある学級の社会科の授業で、「私たちの生活と国際社会の諸課題」というテーマで、班ごとに分かれて学習をしました。次の会話は、田中さんの班が話合ったときのものです。あとの1～4に答えなさい。

田中：最近、様々な食品の値上げのニュースを見聞きするね。昨日、スーパーマーケットに行ったら、私の大好きなチョコレートも値上がりしていて、驚いたよ。

野村：このニュース記事を見て。この製菓会社は、チョコレート商品の価格を2024年11月以降の出荷分から、最大約38%値上げしたんだって。カカオやチョコレートの価格が上がっている現象を「カカオショック」と呼ぶらしいよ。

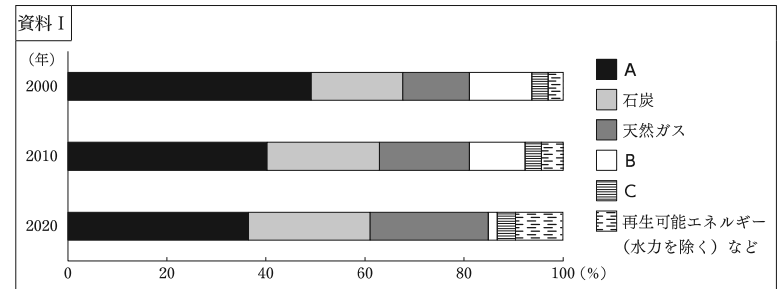
山下：この現象は、世界全体で起きているみたい。私たちの班は、「なぜ、チョコレートの価格は上がっているのか?」を切り口に、国際社会の諸課題について考えてみようよ。

田中：価格上昇の背景には、発電や輸送で使われる原油や天然ガスなどのエネルギー資源の価格変動があるとよく聞くけど、①日本のエネルギー利用の特徴と関係があるのかな。

野村：他の要因もありそうだね。チョコレートは②いつどこで作られ始めたかという歴史的な側面や、カカオが③主にどこで栽培されているかという地理的な側面からも探ってみようよ。

山下：まとめの授業では、④調べたことから見えてくる国際社会の諸課題について、その解決に向けた取り組みを発表してみようよ。

1 下線部①に関して、田中さんは、日本の2000年、2010年、2020年におけるエネルギー供給の割合を示す次の資料Ⅰを見付けました。下のア～カの中で、資料Ⅰ中のA～Cに当てはまる語の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。



	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
A	原子力	原子力	水力	水力	石油	石油
B	水力	石油	原子力	石油	原子力	水力
C	石油	水力	石油	原子力	水力	原子力

社—11

2 下線部②に関して、野村さんは、歴史的な側面に着目し、調べて考えたことを次のようにまとめました。下のア～エの中で、まとめの中の ・ にそれぞれ当てはまる語の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。なお、まとめの中の2か所の ・ にはそれぞれ同じ語が入ります。

野村さんのまとめ

図Iは、17世紀頃の大西洋三角貿易を模式的に示しています。生産されたカカオは、アメリカ大陸から輸出された銀や とともにヨーロッパへ渡り、その後、固形チョコレートが作られ始めました。

現在、日本もカカオの大半を輸入に頼っていて、為替相場の推移を示す資料IIを見ると、矢印(←→)の期間は、それ以前より の状態が続いています。つまり、「貿易」の観点から考えると、 の状態が続いていることがチョコレートの価格上昇の原因だと考えます。

図I

資料II

(日本銀行ウェブページにより作成。)

- ア 茶 円高
 イ 茶 円安
 ウ 砂糖 円高
 エ 砂糖 円安

3 下線部③に関して、山下さんは、地理的な側面に着目し、調べて考えたことを次のようにまとめました。あとの(1)・(2)に答えなさい。

山下さんのまとめ

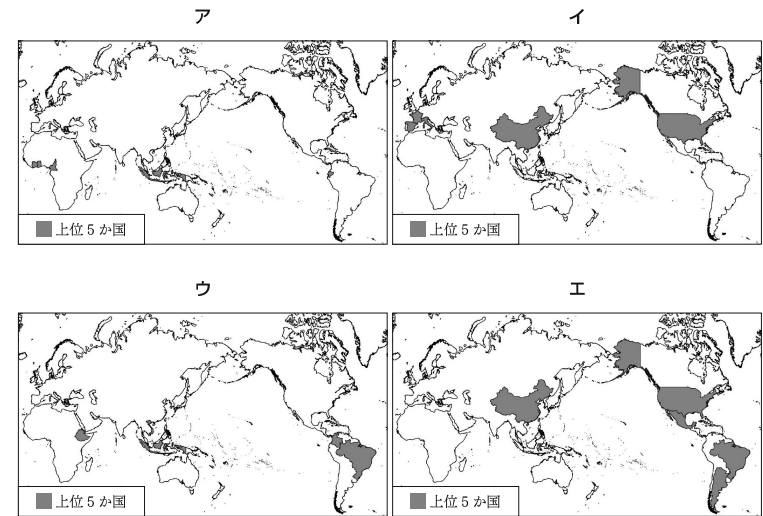
カカオ豆の生産量上位5か国を右の地図Xに示しました。

地図X

5か国の位置に着目すると、高温多湿な気候であることが共通点であり、これが、カカオの栽培に必要な条件であると分かります。

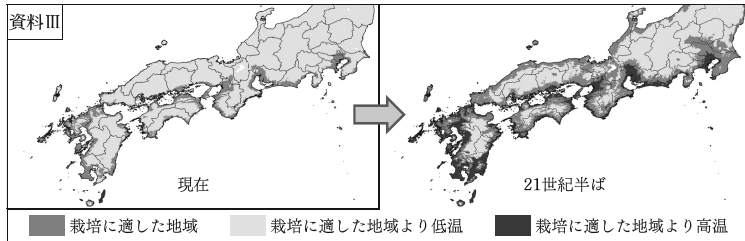
2023年以降、生産量の上位国で豪雨や干ばつが起り、それに伴う病害が原因でカカオは不作となりました。この豪雨や干ばつは、地球温暖化による異常気象が影響していると考えられています。つまり、「自然環境」の観点から考えると、異常気象によるカカオの不作が、チョコレートの価格上昇の原因だと考えます。地球温暖化により、2050年までに カカオの栽培に適した地域が大幅に縮小することが予測されているそうです。

(1) 次のア～エは、カカオ豆、牛肉、コーヒー豆、ブドウそれぞれについての生産量上位5か国(2022年)を示した地図のいずれかに当たります。ア～エの中で、山下さんのまとめの中の地図Xに当てはまる、カカオ豆の生産量上位5か国を示した地図はどれですか。その記号を書きなさい。



(データブック オブ・ザ・ワールド 2025年版により作成。)

(2) 下線部 Y に関して、次の資料Ⅲは、地球温暖化によってウンシュウミカンの栽培に適した地域が変化する予測を示したものです。また、下の文は、資料Ⅲから考察した内容について述べたものです。文中の に当てはまる内容を、どのような人々にとって問題が生じるかに触れて、簡潔に書きなさい。



(農研機構 (2025)「ウンシュウミカン・アボカド適地移動予測マップ」により作成。)

地球温暖化によって、ウンシュウミカンの栽培に適した地域が変化する、将来は新たな地域が栽培可能になる一方、 という問題が生じると考えられる。

4 下線部④に関して、田中さんたちは、カカオ農家の置かれている状況に着目し、調べて考えたことを次のようにまとめました。まとめの中の C に当てはまる適切な語を書きなさい。また、 d に当てはまる内容を簡潔に書きなさい。

田中さんたちのまとめ

カカオを生産している国では、近年のカカオの不作によって、貧困がより深刻になっている地域があります。そもそも貧困の一因には、人々の識字率（15歳以上の人口のうち、日常生活の簡単な内容についての読み書きができる人の割合）の低さがあります。読み書きができないと、仕事が限られたり、貧困を抜け出すための様々な情報にアクセスできなかったりするからです。

こうした状況を改善する支援の一つとして、日本は国際貢献として技術協力や資金提供をする C を通じて、学校を建設したり井戸を整備したりする取り組みを行っています。井戸の整備を進めるのは、資料Ⅳの事例のように、井戸がない地域では子供たちが d ことが、識字率が向上しない一因となるからです。

カカオ生産に関わる諸課題の解決は簡単ではないですが、カカオ農家の生活環境の改善が、貧困からの脱却と持続的なカカオ生産にとって重要だと考えます。

資料Ⅳ



自宅から離れた水場から水をくみ、運んで帰る子供。毎日、料理や食器洗いのために、水をくんで親の手伝いをしている。

(ユニセフウェブページにより作成。)